

# 私たちの金沢大学

2020

大学を支えてくださるみなさまに「大学の今」を紹介します





## 令和元年度 主な行事

|    |  |
|----|--|
| 4月 | 7日:入学宣誓式   |
| 5月 | 25日:新入生保護者懇談会/宝町・鶴間<br>27日:金沢大学シリコンバレーオフィス開設<br>31日:名誉教授称号記授与式   |
| 6月 | 5日: 金沢大学理工学域能登海洋水産センター設立<br>記念行事<br>8日:新入生保護者懇談会/角間<br>22日:女性研究者等研究支援制度成果報告会   |
| 7月 | 11日:ステーキホルダー協議会<br>16日:石川(日本)～ロシア大学交流コンソーシアム<br>設立調印式<br>30日:設計製造技術研究所の看板除幕式   |
| 8月 | 5日: 理系女子中高生イベント「大学のキャンパスで<br>実験！」<br>7日:理工学域「小中学生のためのものづくり教室」<br>7日:理工学域「理学の広場」<br>8日:キャンパスビジット2019(高2以上)<br>9日:サマーカレッジ2019(高1以上)<br>9日:人間社会学域「スタディプログラム」<br>理工学域学類体験プログラム<br>9日:文科省「卓越大学院プログラム」に採択<br>21日:第3回日タイ研究ジョイントシンポジウム<br>28日:理工研究域先端宇宙理工学研究センターの看板<br>除幕式 |
| 9月 | 26日:9月期学位記授与式  |

|     |  |
|-----|--|
| 10月 | 1日:10月期入学宣誓式<br>19日:金沢大学ステーキホルダー協議会 in 大阪<br>26日:ホームカミングデー・留学生ホームカミングデー<br>26日:ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー<br>26~27日:金大祭・医学展   |
| 11月 | 19日: プラハ金沢・宇宙理工学ジョイントシンポジウム<br>2019  |
| 12月 | 9日:金沢大学留学生懇談会<br>10日:ダイバーシティ研究環境推進シンポジウム<br>26日:金沢大学国際賞授賞式・記念講演会   |
| 1月  |  |
| 2月  | 8日:卓越大学院プログラムキックオフシンポジウム<br>8日:日本留学海外拠点連携推進事業<br>日本留学・就職フェア(タイ)<br>16~19日:文理系総合企業研究会<br>16日:第3回海外同窓会総会(ミャンマー)<br>20日:イノベーションシンポジウム2019<br>25~26日:令和2年度一般入試(前期日程) |
| 3月  | 2日:カレル大学・チェコ科学アカデミーとの<br>ジョイントシンポジウム<br>12日:令和2年度一般入試(後期日程)<br>22日:学位記・修了証書授与式<br>25日:金沢大学コンテスト(超然文学賞・日本数学<br>A-lympiad)表彰式                                      |



金沢大学の校章は、アカンサスの葉と「大学」の文字を図案化したデザインとしています。



表紙の写真は、「輝く金沢大学フォトコンテスト」に応募  
いただいた作品で、テーマは「春風と藤の香り」です。

## 目次

|                             |        |
|-----------------------------|--------|
| 学長メッセージ／金沢大学の未来に向けた取り組み     | P2     |
| YAMAZAKIプラン 2020 Next Stage | P3     |
| 教育の特色ある取り組み                 | P4-6   |
| 特色ある大学院教育                   | P7     |
| 附属学校園の特色ある取り組み              | P8     |
| 研究の特色ある取り組み                 | P 9-12 |
| 産学連携                        | P13    |
| 附属病院の特色ある取り組み               | P14    |
| 社会貢献の特色ある取り組み               | P15-16 |
| 留学・国際交流の状況                  | P17-18 |
| 学習支援                        | P19    |
| 経済支援                        | P19-20 |
| 進学・就職状況                     | P21    |
| 入試情報                        | P22-23 |
| 財務状況                        | P24-25 |
| 施設整備                        | P26    |
| ガバナンス体制／金沢大学国際賞／その他         | P27    |
| 附属図書館／資料館                   | P28    |
| 同窓会／金沢大学基金                  | P29    |

### 金沢大学校歌

作詞 室生犀星  
作曲 信時 潔

あま 天つつなみ けぶらひ  
あま 天そそる 白ねの  
ほくほう 北方のみやこに学府のありて  
さん 燦たる燈をかかげたり  
人は人をつくるため  
のろしをあげ  
えいち 慧智の時間を磨く  
はえ 栄光ある人間をつくらむと  
しんぷんか 新風文化の扉は開かれ  
あたらしの人 世代にあふれ  
手はつながれ 才能は結ばれ  
こぞりてわが学府につどへり  
こぞりてわが学府につどへり

## 学長メッセージ

### 皆が頑張る，地域に愛され，世界に輝く金沢大学の実現を目指し

金沢大学は、「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」の位置付けをもって改革に取り組むことを金沢大学憲章で掲げています。世界と伍して卓越した教育研究を展開する「世界卓越型」大学を目指し，令和4年度からの第四期中期目標期間を見据え，全学を挙げて改革を加速させています。

教育組織改革については，文理融合型の新学域「融合学域」や医薬保健学域医薬科学類の令和3年度創設，大学院の高度化といった具体的な計画が進展しています。

研究力強化では，世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）の拠点であるナノ生命科学研究所（NanoLSI）の新たな研究棟が令和2年9月に完成する予定であり，研究成果の創出に向けた分野融合研究の一層の推進が期待されます。

また，国際化，グローバル人材の育成においては，スーパーグローバル大学創成支援事業や大学の世界展開力強化事業等を通じて留学生数・派遣留学者数が増加する等，着実な成果を見せつつあります。


現在，世界中で新型コロナウイルス感染症の感染拡大が終息せず，国内の緊急事態宣言により金沢大学でもオンライン授業を活用した教育を展開しています。COVID-19危機を経て，ニューノーマルの下，大学教育，研究及び社会実装がICTの活用により積極的なアクティビティに大いに変化しそうです。ポストコロナを見据え，大学教育・研究も大きく様変わりすることが求められています。皆様と共に手を携えて，この変化，イノベーションの波を乗り越えたいと思います。



学長 山崎 光悦

## 金沢大学の未来に向けた取り組み

### 我が国の持続的な発展を見据えた先導的な分野融合型教育・研究の展開 【社会を先導するリーダー養成に向けた融合学域先導科学類（仮称）の創設】



Industry4.0・Society5.0 と称される情報科学技術の飛躍的進展や，さらにはポストコロナで大きく変わろうとしているこれからの社会では，文理を問わない幅広い分野の知見と，社会を変革しようとする強い意欲を併せ持つ，イノベーション創出を担う人材が不可欠です。本学では，こうした人材の養成に向け，新たに融合学域を創設し，その中に先導科学類を設置します。本学類では，新たな知の創出に向け，人間力にも通ずる洞察力・分析力・判断力に加え，文理融合の発想力，アントレプレナーシップ教育による課題解決能力を早期に醸成し，さらにアクティブラーニング手法を重視したSTEAM人材育成教育を強化し，その学修成果を社会へと実装できる社会変革人材を輩出します。

### 【科学技術イノベーションの創出に向けたナノ生命科学研究の高度化】

「世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）」（平成29年度）の採択を受け，「ナノ生命科学研究所（NanoLSI）」を設置し，新たな学問領域「ナノプローブ生命科学」の創出に向け，ナノ計測学，生命科学，超分子化学，数理計算科学による異分野融合研究を推進しています。さらなる分野の枠を超えた研究の加速に向け，研究者が一つの建物に集結するアンダーワンルーフ型のナノ生命科学研究棟を角間南キャンパスに建設します。また，将来の「未踏ナノ領域」を切り拓く研究人材の育成に向け，令和2年4月に新学術創成研究科ナノ生命科学専攻博士前期課程及び博士後期課程を同時設置しました。



# YAMAZAKI プラン 2020 Next Stage

本学では、全学的な大学改革プランとして策定した「YAMAZAKI プラン 2014」を改革のエンジンとしつつ、2度にわたり発展的に同プランを見直し、自主的・自律的な大学改革を加速させてきました。

一方、社会の動向に目を向けると、我が国の国際競争力の強化や地方創生に向けた国立大学の責務が大きくなっています。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、第4次産業革命や Society5.0 の実現に向けた社会システムの変革が今まで以上に加速することが想定されます。

このような情勢を踏まえ、本学は中長期的な視野に立ちながら社会システムの変革に即応し、持続的な競争力を持ち、高い付加価値を生み出すため、戦略的な教育・研究の強化、社会の多様なセクターとの有機的連携による学問の進展とイノベーションの創出等、以下の施策を掲げた「YAMAZAKI プラン 2020 Next Stage」を令和2年6月に新たに策定し、公表しました。

第4期中期目標期間を目前に控え、この「YAMAZAKI プラン 2020 Next Stage」を次代に向けた架け橋として位置付け、各施策に自主的・自律的取り組みます。

## 戦略1 研究の先鋭化と新たな強みとなる新領域・融合分野の創出による世界的研究拠点の形成

Vision I 先進的・独創的研究の推進と基礎研究分野の堅持

Vision II 研究力強化に向けた環境整備

- ・世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）推進研究拠点（NanoLSI）や共同利用・共同研究拠点、研究所、新学術創成研究機構、研究域附属研究センター等における組織的な研究活動を先鋭化し、国際的な研究拠点を形成

## 戦略2 グローバル社会の中核的なリーダーとして活躍する「金沢大学ブランド」人材の育成

Vision III 大学院教育の高度化と国際化

Vision IV 学士課程教育改革とイノベーション人材の育成

Vision V 新たな価値を創造する人材の育成に向けた高大接続改革と入試制度改革

Vision VI 徹底した学生支援

- ・社会のニーズ等を踏まえた、社会変革・科学技術の進展に応じた融合学域の設置等による学士課程の教育組織改革や、自然科学研究科の専攻再編等による規模の拡大を含めた大学院課程の組織改革
- ・卓越大学院プログラムの先導による大学院教育の高度化・国際化や、数理・データサイエンス教育の充実、ポストコロナを見据えた教育の質的転換等、高度で良質な人材育成のための教育プログラム改革

## 戦略3 国際的な連携ネットワークの形成と頭脳循環の推進

Vision VII 国際協働ネットワークによる教育・研究活動における高度なモビリティの推進

- ・世界トップレベル大学等との組織対組織の連携基盤を強化し、国際競争力のある交流ネットワークを形成

## 戦略4 世界と地域との環流による社会貢献・社会実装

Vision VIII 大学をハブとしたオープンイノベーションの推進

- ・金沢大学が有するリソースを産業、地域振興、行政、人材育成、医療等、社会のあらゆる領域に還元し、多様なセクターとの実効的な社会共創を一体的に推進

## 戦略5 積極的なガバナンス改革による戦略的マネジメントの推進

Vision IX 機能強化を推進する大学運営と戦略的な財政運営

Vision X 機能強化に向けた戦略的な教育研究環境の整備

- ・教育研究機能を最大限に発揮するため、ガバナンス体制をさらに強化するとともに、財政計画に基づく支出の見直しや効果的な資金配分、外部からの投資資金の獲得拡大による財政基盤を強化
- ・ナノ生命科学研究所棟の建設等、教育研究組織の態様に応じた施設マネジメントを実施

## 戦略6 高度臨床研究の展開と中核的な医療拠点としての機能強化に向けた附属病院改革の推進

Vision XI 臨床研究の推進と先進的医療を担う人材の育成

Vision XII 地域中核病院としての機能強化

- ・先進医療・医師主導治験や医療従事者に対する専門教育・リカレント教育等を推進するとともに、地域の中核病院として関連病院との連携体制の更なる強化を推進

## 教育の特色ある取り組み

### 学域学類制

本学では、学生一人一人の成長を無理なく促して、社会に必要とされる能力を身に付けさせるため柔軟な進路選択に適した教育のしくみを用意しています。

#### 「学域・学類」という幅広い枠組みでの入学

入学の基本的な単位は「学域・学類」であり、旧来の「学部・学科」より幅広く大きな枠組みで学びをスタートできます。そこで学びの基礎を固めつつ、自分が本当にやりたいテーマを探すことができるため、入学するときに何を自分のテーマにするか、必ずしも決め込む必要がありません。

〔注：機械工学類、フロンティア工学類及び電子情報通信学類は3学類一括入試、保健学類は専攻単位で、かつ理学・作業療法学専攻は併願入試〕

#### 基礎を学んでから専門領域を決める「経過選択制」

人間社会学域や理工学域では主に2年次に、一人一人が自分の志望や適性に合わせて専門領域（コース）を決めます。文系・理系一括入試では、学類の選択を1年次後期に行います。この「経過選択制」によって、基礎基本を学びながら、ゆっくりじっくり、自分のテーマを選ぶことができます〔注：医学類と保健学類は資格取得の関係で導入せず〕。また、入学後に異なる学問分野に興味を持った場合は、「転学類・転コース制度」により進路変更することも可能です。

### 学類再編

平成20年度の学域学類制への再編改組から10年以上が過ぎ、これまでの教育実績等を検証し、ミッションの再定義等を踏まえ、機能強化を図るため教育組織等の改革を計画的に進めています。本学の強みを活かし時代の要請に応えるべく学類の再編を行い、学域・学類のダイナミックな交流の下、未来志向の研究に積極的に取り組み、質の高い学びを提供しています。

平成30年度には、人間社会学域経済学類、地域創造学類及び国際学類において、コースの再編、入学定員の見直しを行いました。また、理工学域では、機械工学類、電子情報学類、環境デザイン学類及び自然システム学類を、機械工学類、フロンティア工学類、電子情報通信学類、地球社会基盤学類及び生命理工学類に再編改組しました。令和3年度には、さらに大きな組織改革を予定しています（後述）。

### 金沢大学<グローバル>スタンダード（KUGS）

グローバル化が不可逆的に進行する現在の国際社会において、大学憲章に掲げる基本的な教育目標を実現するために、本学が育成する人材の具体的な姿として、「金沢大学<グローバル>スタンダード」を定め、これを実現するためのさまざまな教育を行っています。

#### 5つのスタンダード

各人の立ち位置に課された人類の一員としての自己の使命を国際社会で積極的に果たし、知識基盤社会の中核的なリーダーとなって、常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていける能力・体力・人間力を備えた人材を育成します。

#### 金沢大学<グローバル>スタンダード

| 基準1   | 基準2   | 基準3   | 基準4  | 基準5  |
|---|---|---|--|--|
| <b>自己の立ち位置を知る</b>   | <b>自己を知り、自己を鍛える</b>                             | <b>考え・価値観を表現する</b>                                      | <b>世界とつながる</b>   | <b>未来の課題に取り組む</b>  |
| 鋭い倫理感と科学的知見をもって、人類の歴史学的時間と地政学的空間の中に立つ自己の位置、自己の使命を主体的に把握する能力 | 自己を知り、その限界に挑戦し、知的冒険と心身の鍛錬を通して常に自己の人間力を磨き高めていく能力 | 論理的構成力や言語表現力を駆使して概念やアイデアを明確に表現し、かつ自己の感性や価値観を的確に他者に伝える能力 | 他者への深い共感に基づいて異文化と共生し、各人にとっての自国と郷土の文化への自覚と誇りをもって、世界と積極的につながっていく能力 | 科学技術の動向、自然環境変動、持続可能性などの多角的視座から地球と人類、国際社会と日本の未来を総合的に予測し、未来の課題に取り組んでいく能力 |



## 国際基幹教育院

基幹教育を強固に推進することによって、本学の教育全体の高度化と国際化を牽引することを目的として、平成 28 年度に国際基幹教育院を設置しました。

本教育院に専任教員を配置し、「GS 教育系／部門」、「外国語教育系／部門」、「高等教育開発・支援系／部門」に、「国際教育部門」及び「リメディアル・基礎教育部門」を加えた 3 系・5 部門を編成し、組織的な教育研究活動を行っています。

また、共通教育科目と学問的に深い関わりがある学類等の専任教員が授業担当教員として協力することで、授業内容の標準化を図るとともに、本学の新しい基幹教育（共通教育）の実施に責任を持ち、KUGS を基軸とした、学士課程教育の基盤をなす授業科目である Global Standard 科目（GS 科目）及び Global Standard 言語科目（GS 言語科目）を中心とした体系的なカリキュラムを実施しています。全ての GS 科目にアクティブ・ラーニングを取り入れ、学生の自学自習を促しています。

平成 30 年度から「文系後期一括、理系後期一括」入試（令和 3 年度から前期日程に移行）による入学者を総合教育部に受け入れる等、本学における教育改革のフラグシップとして役割を果たしています。

## 多様な学生を幅広く受け入れる革新的な入試改革

入学者の多様性を確保するため、令和 3 年度入試（令和 2 年度実施）から、革新的な独自の入試を導入します。「KUGS 特別入試」では、本学が提供する KUGS 高大接続プログラム<sup>※</sup>の修了を出願要件とし、基礎的知識・技能を活用して他者と協働しながら夢を実現する強い意欲を持つ人材、「超然特別入試」では、本学が平成 30 年度に創設した 2 つのコンテスト、日本数学 A-lympiad（卓越した数学と英語の力を持った高校生がチームで挑戦）、超然文学賞（「言葉の力」「文学の力」で人間の新しい可能性を切り開く能力を評価する文芸作品コンテスト）での入賞を出願要件とし、卓越した才能を持つ人材を選抜します。このほか、後期日程を廃止し、前期日程に募集人員を移行します。さらに、平成 30 年度入試から導入した「文系一括・理系一括入試」も前期日程で実施し、前期合格の機会を拡大します。

これらの入試改革により、意欲ある多様な人材を受け入れ、複雑・多様化する国際社会を牽引する「金沢大学ブランド」のグローバルリーダーを育成します。

※「金沢大学〈グローバル〉スタンダード」の能力が身に付くよう開発した独自の高大接続プログラム

## スーパーグローバル大学（SGU）創成支援事業

スーパーグローバル大学（SGU）創成支援事業とは、世界トップレベルの研究を行う大学や国際化を牽引する大学を重点的に支援する文部科学省の事業です。本学は、平成 26 年度「徹底した国際化による、グローバル社会を牽引する人材育成と金沢大学ブランドの確立」をテーマに採択を受けました。東アジアの知の拠点としての機能をこれまで以上に強化するため、国際化に必要な大学改革を進めます。その結果としての 10 年後の金沢大学の姿を以下の 3 つで表します。

- ① 独自のグローバル人材育成スタンダードに基づく質の高い教育を提供する大学
- ② 世界で活躍する「金沢大学ブランド」の人材を輩出し、日本のグローバル化を牽引する大学
- ③ 東アジアの地において世界の高等教育研究ネットワークの中核に位置する大学

| 10年後の目標値                     | 2013年 | 2017年  | 2023年    |
|------------------------------|-------|--------|----------|
| 外国人教員及び海外で学位取得・教育研究歴をもつ教員の比率 | 17.3% | 21.8%  | 50%      |
| 全学生に占める外国人留学生の割合             | 7.0%  | 9.5%   | 20%      |
| 日本人学生に占める留学経験者の割合            | 1.8%  | → 6.1% | → 11.60% |
| 英語による授業〔大学院課程〕               | 3.9%  | 33.8%  | 100%     |
| 英語による授業〔学士課程〕                | 2.4%  | 10.1%  | 50%      |

学生の卒業時の語学レベル（英語）を設定 **2023年にTOEIC 760点、TOEFL-iBT 80点**

## 教育の特色ある取り組み

### 令和3(2021)年4月、新たな学域・学類を設置！(文部科学省に設置申請中)

平成20年度の学域学類制導入以降、初めて新学域を設置し、4学域18学類での教育を開始します。

#### ・社会変革を先導するリーダーを養成する「融合学域先導科学類(仮称)」

大きく変わろうとしているこれからの社会では、文理を問わない幅広い分野の知見と、社会を変革しようとする強い意欲を併せ持つ、“社会変革を先導するリーダー”となる人材が不可欠です。本学では、こうした人材養成に向け、新たな学域・学類を設置します。本学域・学類では、文理を問わない多様な入試により、高校生をはじめ、留学生、社会人を積極的に受け入れてダイバーシティ教育環境を形成します。3つのコアプログラムの並行学修により最先端の知見や社会ニーズを学ぶ分野融合型教育を実践するとともに、アントレプレナー教育を充実させ、その学修成果を社会へと実装できる社会変革人材を輩出します。



#### ・次代の先進医療や画期的新薬開発に寄与する高度研究者を養成する「医薬科学類(仮称)」

世界に先駆けて超高齢化社会を迎えた我が国においては、健康長寿社会の形成に向けた取り組みが精力的に進められています。それに向けて、医学・薬学両分野の研究開発ポテンシャルを併せ持ち、世界の最先端医療の研究・開発をリードできるイノベティブな人材を養成することが重要です。本学では、こうした人材養成に向け、医薬保健学域に新たな学類を設置します。本学類は医学と薬学の基礎を共通に学んだ後、生命医科学、創薬科学の各コースにおいて深い専門性をシームレスに学ぶとともに、早期から研究マインドや倫理観等を醸成し、世界レベルで研究を展開できる高度な研究者人材を輩出します。



### 人間力強化プログラム 学長と行く合宿シリーズ ～地域「超」体験プログラム～

己を鍛え、己を磨き続ける学生生活を送るために、仲間と苦楽を共にする環境下で、体力・精神力の重要性と多様な価値観の存在、社会の一員であることの自覚を促すことを目的としています。平成27年度から1単位の正課教育として本格導入しました。アクティブ・ラーニングを取り入れた事前講義を実施し、民泊・坐禅・学長講義・ボランティア活動をプログラムとする合宿を毎年4回(珠洲、小木、白山麓、五箇山)実施しています。令和元年度は105名が参加しました。



能登・小木合宿 臨海実験施設実習

### 大学教育再生加速プログラム(AP)事業の継承発展

本学では、平成26～令和元年度に「学生の主体性を涵養するカリキュラム・教育方法・学修支援環境の総合的な改革」をテーマに、大学教育改革を支援する文部科学省の事業である大学教育再生加速プログラム(AP)事業に採択され、以下の3つの施策に取り組んできました。

- ①学域・学類の中核科目群でのアクティブ・ラーニングの深化・充実
- ②アクティブ・ラーニングに適した学修環境の活用・展開
- ③学修過程・成果の可視化による学修評価の定量的評価(IR)

令和2年度以降は本学独自にAP事業の継承発展につとめ、アクティブ・ラーニングを中心に学生中心の学修をより深化させるべく教育改革の取り組みを進めていきます。



## グローバルサイエンスキャンパス (GSC)・ジュニアドクター育成事業

科学技術振興機構 (JST) が支援する、将来グローバルに活躍しうる傑出した科学技術人材を育成することを目的として、体系的な理数教育プログラムの開発・実施などを行う事業です。

本学は、地域で卓越した意欲・能力を有する高校生など対象とするグローバルサイエンスキャンパス (GSC) に、平成 28 年度「世界でかがやく科学技術イノベーション人材の育成」をテーマに採択を受けました。これまで 16 名の受講生が国際シンポジウムでポスター発表をしました。

また、平成 29 年度には、理数・情報分野の学習等を通じて、高い意欲や突出した能力を有する小中学生を対象とするジュニアドクター育成塾に、「未来の科学・技術を担う探究意欲と科学を楽しむ心をもった子ども (未来の科学者) の育成」をテーマに採択を受けました。

## 特色ある大学院教育

### WPI 拠点と民間企業等で連携して「ナノ精密医学・理工学」卓越人材を養成！

本学は、令和元年度に、文部科学省「卓越大学院プログラム」に「ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラム」のテーマで採択を受けました。本事業は、本学大学院自然科学研究科、医薬保健学総合研究科、先進予防医学研究科及び新学術創成研究科の 4 研究科にまたがる学位プログラムです。

本学の強みである世界トップレベル研究拠点「ナノ生命科学研究所 (WPI-NanoLSI)」の卓越した研究環境の下、産業界とも参画し、人類社会の課題である「がん、生活習慣病、脳神経病、微小粒子・ナノ材料による疾患」を対象に、技術に強いナノ精密医学・医学に強いナノ精密理工学のプロフェッショナル博士人材を養成します。



### 新学術創成研究科をリニューアル！

令和 2 年 4 月、新学術創成研究科に新たにナノ生命科学専攻の博士前期課程及び博士後期課程を同時に設置するとともに、北陸先端科学技術大学院大学との共同教育課程である融合科学共同専攻に博士後期課程を設置し、新学術創成研究科は博士課程 2 専攻を擁する研究科にリニューアルしました。

ナノ生命科学専攻は、本学の強みである世界トップレベル研究拠点「ナノ生命科学研究所 (WPI-NanoLSI)」の研究環境を活かし、世界最先端のナノ計測・制御を生命・物質科学分野に展開し、未踏ナノ領域を切り拓く研究人材を養成します。また、融合科学共同専攻は、イノベーションの源泉である「新たな知」を創造するため、複数の科学分野を融合させ、社会を力強く導いていけるような「科学技術イノベーション人材」を養成します。

### 法曹養成プログラム (法曹コース) の設置

令和元年度に、人間社会学域法学類と大学院法務研究科との間で締結した法曹養成連携協定が文部科学省から認定され、法学類に法曹養成プログラム (いわゆる「法曹コース」) を設置しました。法曹養成プログラムは、法曹 (弁護士、裁判官、検察官) を志望する学生が、法学類と本学法科大学院との体系的・一貫的な教育を受ける教育プログラムです。原則として法学類を 3 年間で早期卒業し、特別選抜入試 (5 年一貫型入試) に合格後、大学院法学研究科法務専攻 (令和 2 年 4 月に改組) の既修者コース (2 年間) に進学することで、大学入学から「3 + 2」の最短 5 年間で司法試験の受験資格を得ることができます。

## 附属学校園の特色ある取り組み

### 5 つの附属学校園が設置されている数少ない総合大学です。

#### 附属幼稚園：里山自然体験による教育

年長組が年間を通じて稲作や里山探検など、自然体験活動に取り組んでいます。自然インストラクター、農業従事者、研究者、教師が協働し開発した「幼児の自然体験プログラム」を実践する中で、園児は自己決定を繰り返しながら自然と関わり、学びを深めています。自然体験活動を通して、幼児期に育みたい資質・能力を育てています。



自然インストラクターと自然に触れ合う園児

#### 附属小学校：Society5.0 に向けた人材育成～多様性をいかす汎用的能力の育成～

令和2年度は、実践教育研究として「Society5.0 に向けた人材育成～多様性をいかす汎用的能力の育成～」という研究主題のもと、本校児童にコミュニケーションに関する汎用的能力を育成することを目的として取り組みます。新しい時代に求められる資質・能力を確実に育成していくことを目指し、コミュニケーション力をつける授業をどのように設計していくか探求し発信していきます。



話し合いながら課題を解決する児童

#### 附属中学校：STEAM 教育を通じたイノベーション力の育成

平成29年度から、国立教育政策研究所 教育課程研究校（2年間）の指定を受け、全ての教科等で伝統文化教育に取り組み、一人一人の生徒がグローバル社会で生きるために必要な資質・能力を身に付け、自国の文化を愛するとともに、他国の文化を理解・尊重し、平和な世界の形成者となる人材の育成を目指しました。今年度は新たに、「Society5.0 を主体的に生きるための資質・能力の育成—STEAM 教育を踏まえた教科等横断的プロジェクトの作成を目指して—」という研究に取り組みます。



プログラミングの学習をする中学生

#### 附属高校：WWL コンソーシアム構築支援事業拠点校（2年目）

附属高校は、平成26年度から5年間文部科学省 SGH（スーパーグローバルハイスクール）校の指定を受け、その後令和元年度から3年間、文部科学省「WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業」の拠点校に採択され、今年度は2年目となります。「持続可能な世界を実現し、Society5.0 を牽引するグローバル・リーダーの育成」を目標に、金沢大学を管理機関として、北陸圏域内の高校、海外の高校、社会との3つのアライアンスを確立し、アドバンスト・ラーニングを促進します。



金沢大学留学生を交えた「グローバル課題研究」の授業

#### 附属特別支援学校：新学習指導要領に対応した学習方法の探求

文部科学省「令和2年度特別支援教育に関する実践研究充実事業」を受託し、新学習指導要領に示される資質・能力を育成する学習や評価の在り方を、地域の方との協働活動や他団体との交流及び共同学習を通じて探求しています。その成果を研究フォーラムや教育研究会等で広く発信します。



地域の方と災害時の調理実習をする高等部生徒



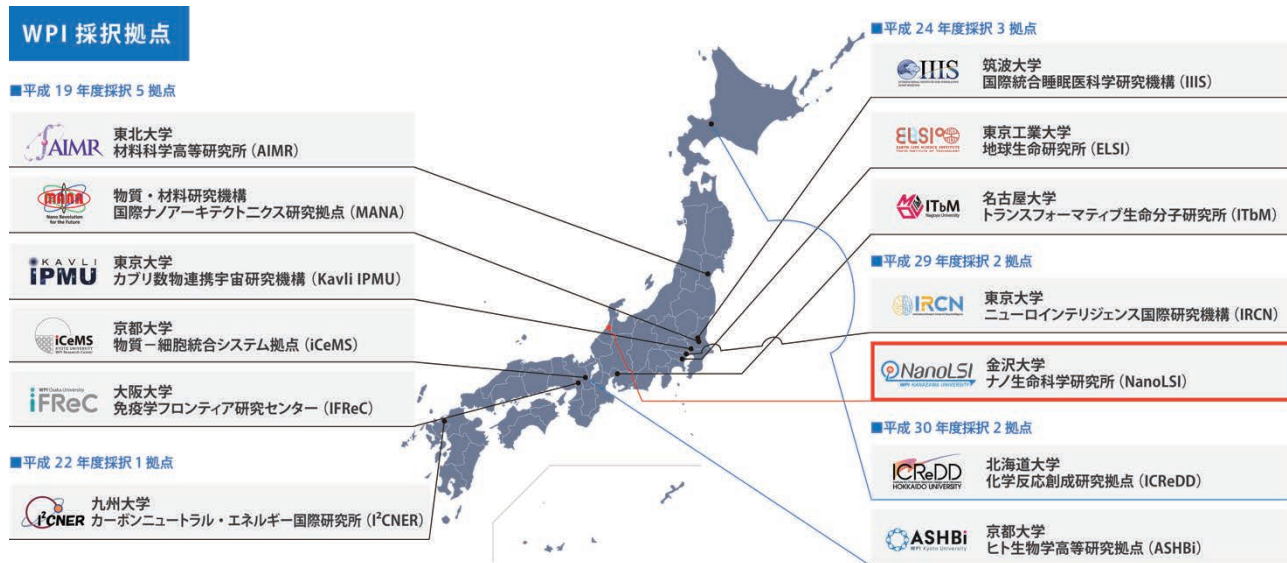
## 研究の特色ある取り組み

これまで誰もみたことのない生命現象を、観る、そして制御する

### 世界トップレベルの研究拠点形成へ — ナノ生命科学研究所 —



金沢大学は、平成 29 年度に「世界トップレベル研究拠点プログラム」(以下、WPI)に採択され、「ナノ生命科学研究所」(Nano Life Science Institute (WPI-NanoLSI), 以下『NanoLSI』)を設立しました。WPI とは、平成 19 年度から文部科学省が実施している、全世界から第一線の研究者が集まる優れた研究環境と世界最高水準の研究を誇る「世界から目に見える研究拠点」の形成を目指す事業です。



プログラム詳細はこちら：<https://www.jsps.go.jp/j-toplevel/>

NanoLSI では、1メートルの10億分の1、ちょうど分子や原子のサイズである「ナノ」の世界を舞台に、ナノスケールのものを観察できる最先端の「走査型プローブ顕微鏡技術」を核として、ナノ計測学、生命科学、超分子化学、数理計算科学間における異分野融合研究を推進します。近い将来、生きた細胞の内部や表層を直接観察、分析、操作することができる世界初の「ナノ内視鏡(ナノプローブ)技術」を開発し、この技術によって生命の誕生や老化、「がん」等の疾患など、未だその実態が解明されていない生命現象の仕組みを根本的に理解し、解明することを目指します。

令和2年9月に、角間キャンパス南地区に研究者が一つの建物に集結するアンダーワンルーフ型の新しい研究棟が完成する予定です。オープンな環境で分野の枠を超えた研究の更なる加速が期待されます。



ナノ生命科学研究所棟 完成予想図(外観)

### 第3回国際シンポジウムを開催

令和元年8月8日に、ブリティッシュコロンビア大学(UBC)(カナダ・バンクーバー)で第3回国際シンポジウムを開催し、72名が参加しました。NanoLSIの連携拠点であるUBCからの参加者をはじめとする北米の研究者らは、講演やポスター展示を通してNanoLSIとその研究に関する理解を深めました。休憩時には参加者同士の活発な交流が見られ、国際的な研究ネットワークの構築に資する有意義な機会となりました。



昨年に引き続き、海外で開催

## 研究の特色ある取り組み

### 世界的研究拠点を目指す — 超然プロジェクト —

世界的な研究拠点を形成し全学的な研究力強化につなげることで「世界に誇る金沢大学」を実現するため、平成26年度から「超然プロジェクト」を実施しています。

平成29年度には、このうち3プロジェクトを基盤とした「ナノ生命科学研究所」構想が、文部科学省「世界トップレベル研究拠点プログラム」に採択されました。

令和2年度は、令和元年度からの継続プロジェクト（下記3件）を対象として、優位性のある研究領域を重点的に支援しています。



#### 高等哺乳動物を用いた脳ダイナミクスの先導的研究拠点の形成

プロジェクトリーダー 医薬保健研究域医学系 教授 河崎 洋志



#### 太平洋西部縁辺海域における越境汚染の空間変動と

ヒト・生態系への影響評価研究

プロジェクトリーダー 環日本海域環境研究センター 教授 長尾 誠也



#### 古代文明の学際研究の世界的拠点形成

プロジェクトリーダー 新学術創成研究機構 教授 河合 望



### 大学の枠を超える — 共同利用・共同研究拠点 —

文部科学省は、「我が国全体の学術研究の更なる発展のためには、国公私立大学を問わず大学の研究ポテンシャルを活用し、研究者が共同で研究を行う体制を整備することが重要」とし、拠点認定を行っています。令和2年4月現在、国立大学では67拠点、本学は次の2拠点が認定されています。

#### がん進展制御研究所

全国の国立大学附置研究所の中で唯一の「がん研究」に特化した研究所です。平成22年度に「がんの転移・薬剤耐性に関わる先導的共同研究拠点」として認定され、医学・薬学・獣医学及び理工学の幅広い分野の研究者が集結し、がんの悪性化機構の本態解明とその制御による先制医療の実現を目指した研究を推進しています。



令和元年10月29日 宝町キャンパスにて  
“International Symposium on Tumor Biology  
in Kanazawa 2019”を開催

#### 環日本海域環境研究センター

金沢大学の地理的な特色を生かして、環日本海域から東アジアにおける種々の環境問題の科学的研究による解決に積極的に取り組んでいます。平成28年度から「越境汚染に伴う環境変動に関する国際共同研究拠点」に新たに認定され、これまでの大気・海洋・陸域ごとの研究を統合して先進的調査研究を推進する「統合環境学」を創成し、研究成果を世界に発信しています。



令和元年12月17～19日 角間キャンパスにて  
国際ジョイントシンポジウム（共同利用・共同研究拠点シンポジウム「統合環境研究」、超然シンポジウム「太平洋西部縁辺海域における越境汚染」）を開催



## 研究の特色ある取り組み

### 東京での公道実証実験開始へ — 自動運転プログラム —

本学の自動運転研究チームは、中部大学、名城大学と共に受託している内閣府総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期「自動運転（システムとサービスの拡張）」「自動運転技術（レベル3, 4※）に必要な認識技術等に関する研究」の一環として、令和元年9月から、東京臨海部（お台場等）で自動運転の公道走行実証実験を開始しました。

この東京臨海部実証実験では、信号情報提供用 ITS 無線路側機からの信号情報等を活用し、市街地の一般道でのレベル3, 4相当の自動運転車に必要なとされる交通インフラの技術的な要件及び配置に関する要件や、当該交通インフラに対する認識及び判断の技術的な要件を明らかにしていきます。

※レベル3：条件付き運転自動化。特定条件下においてシステムが全ての運転タスクを実施するが、緊急時には運転手が運転操作を担う状態。

レベル4：高度運転自動化。特定条件下においてシステムが全ての運転タスクを実施。



### 次世代の材料開発に挑む — ナノマテリアル研究所（NanoMaRi） —

本研究所は、優れた省エネ・創エネ性能を発現する材料やデバイスの開発を目指し、本学の強みである技術・研究を結集して平成30年8月に設立したものです。

超分子は、個々の分子では得られない特異な性質・構造を有し、さまざまな材料への応用が期待されています。

現在は5つのグループが組織され、個々の研究課題に取り組みながら、研究所全体としてスマート社会実現に貢献する革新的なナノ材料・デバイスの開発を進めています。

さらに、研究開発マネジメントに顕著な業績を有する海外研究者の招聘及び国内外の研究機関や民間企業などとの連携により、製造技術の開発を強力に推進します。



### 次世代設計生産技術の開発を目指す — 設計製造技術研究所 —

本研究所は、多様なニーズに迅速かつ柔軟に対応するモノづくりの実現に向けて、本学の強みである設計・製造・加工技術を集結して令和元年6月に設立したものです。

民間企業や自治体と密な連携を図り、基礎・応用研究から実用化までを一貫した研究開発を推進することで、新たな設計生産技術を確立し、モノづくりの発展と産業創生に貢献します。



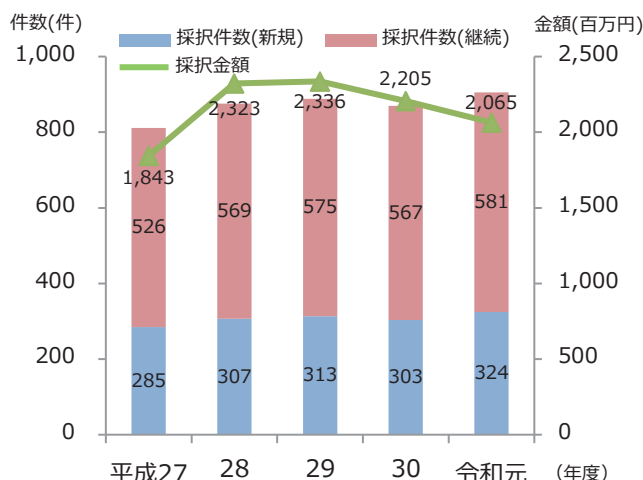
## 研究の特色ある取り組み

### 科研費採択状況

科研費は、人文・社会科学から自然科学まで、基礎から応用に及ぶあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）の発展を目的とする、我が国最大規模の研究助成制度です。

本学では、科研費獲得に向けた支援を全学的に行っており、令和元年度科研費の採択件数は、905件（うち新規採択 324 件）となりました。

採択件数の順位は、国内研究機関では 14 位で、いわゆる旧六大学（金沢大、千葉大、新潟大、岡山大、長崎大、熊本大）の中では、岡山大学に続き 2 位となります。



<件数等は、例年秋公表の文部科学省資料に基づく>

### 主要公募事業の採択実績

文部科学省事業をはじめとする各種公募事業の採択を受け、先進的な研究活動を行っています。以下は、令和元年度に採択された主な実績です。

#### 卓越大学院プログラム（文部科学省・令和元年度～令和7年度）

##### ナノ精密医学・理工学 卓越大学院プログラム

本プログラムは、人類社会の課題である「がん、生活習慣病、脳神経病、微小粒子に起因する疾患、ナノ材料に起因する疾患」の5つにターゲットを絞り、ナノレベルでの理解・制御による革新的予防・診断・治療法の創出を担う「技術に強いナノ精密医学プロフェSSIONナル・医学に強いナノ精密理工学プロフェSSIONナル」を育成します。

#### 科学技術人材養成等委託事業（文部科学省・令和元年度）

##### リサーチ・アドミニストレーターに係る質保証制度の構築に向けた調査研究

本プログラムは、必要な研修の受講と一定程度の実務経験により URA に必要とされる実務能力の質的保証を行う認定制度の仕組みを構築し、質の高い専門人材が持続的に我が国の大学に確保されることを通じて、研究環境の充実等を図ることを目的としています。

### 金沢大学が誇る研究者

#### — 平成31年度の主な受賞 —

##### 平成31年度文部科学大臣表彰・若手科学者賞

##### 液中原子間力顕微鏡による固液界面の原子・分子スケール研究

ナノマテリアル研究所・准教授

浅川 雅

##### 平成31年度文部科学大臣表彰・若手科学者賞

##### 金属酸化物分子の静電場を利用した構造制御と機能開拓の研究

理工研究域物質化学系・准教授

菊川 雄司

##### 平成31年度文部科学大臣表彰・若手科学者賞

##### 白血球レセプター複合体と病原体との相互作用に関する研究

先進予防医学研究センター・特任准教授

平安 恒幸



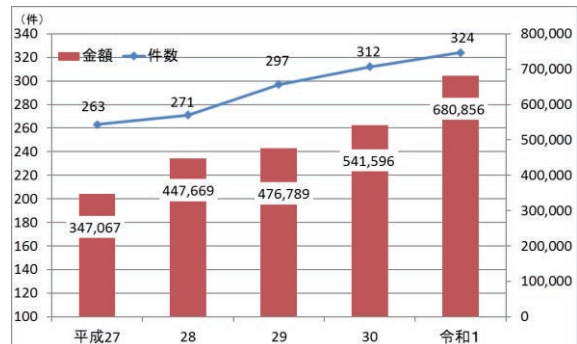
## 産学連携

### 共同研究の状況

共同研究とは、企業等から研究費等を受入れ、民間の研究者と本学の研究者が、対等の立場で共通の課題に取り組む制度です。優れた研究成果をいち早く社会に還元することを目指し、本学も積極的に推進しています。

本学の共同研究における実施件数及び実施金額は増加傾向にあり、令和元年度は間接経費の改訂及び共同研究講座が金沢大学に初めて開設された事が重なり過去最高となる実施件数 324 件、実施金額 6 億 8 千万円超と、初めて 6 億円を超える結果となりました。

■ 共同研究件数・金額（年度別）

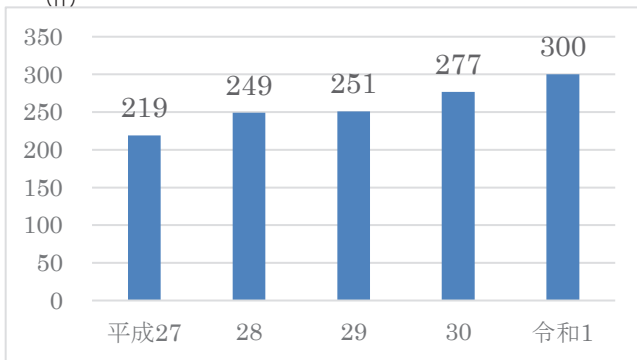


### 特許活用の状況

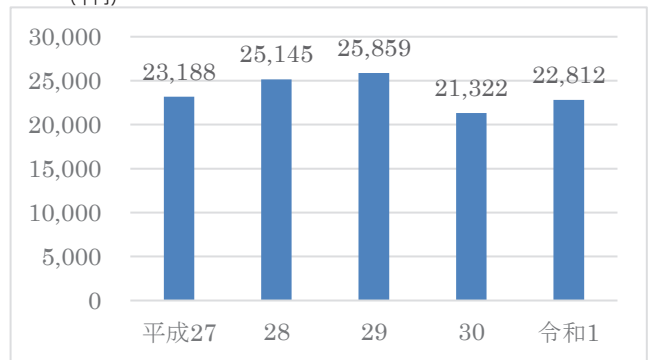
研究の成果によって生み出された大学の特許は、実施料収入等だけを得るのではなく、大学の研究成果が社会で最大限活用されるための手段として利用されています。

特許が社会で有効活用され社会貢献できると判断されるときは、技術移転（企業へ特許の使用許諾をすること＝ライセンス）による活用を図ります。

■ 特許保有件数（年度別）  
(件)



■ 実施料等収入額（年度別）  
(千円)



令和元年度の実施料等収入は 22,812 千円でした。消化器がんの遺伝子診断キットや原子間力顕微鏡、電波可視化装置、流体研磨装置などにかかるライセンス技術が主力特許となっています。

### 企業との連携強化に向けた取組（共同研究講座の設置など）

本学では、個別の研究課題に限った企業との交流だけではなく、「組織」対「組織」で幅広く交流して、ともに課題解決を図る産学連携包括連携協定による企業との交流も進めています。

令和元年7月には、本学初となる共同研究講座を(株)ダイセルと設置し、「先端科学技術共同研究講座」に(株)ダイセルから特任教員2名を受入れ、セルロース分野での新技術開発を進めています。

■ 産学連携包括連携協定等一覧

#### 産学連携包括協定締結企業一覧

(株)小松製作所, 澁谷工業(株), 北陸電力(株), (株)P F U,  
(株)日本政策金融公庫金沢支店, トヨタ紡織(株),  
(株)ダイセル, 中日本高速道路(株)金沢支社

#### 共同研究講座設置企業一覧

(株)ダイセル, (株)スギ薬局, ほか 1 社

■ (株)ダイセルとの共同研究講座除幕式



## 附属病院の特色ある取り組み

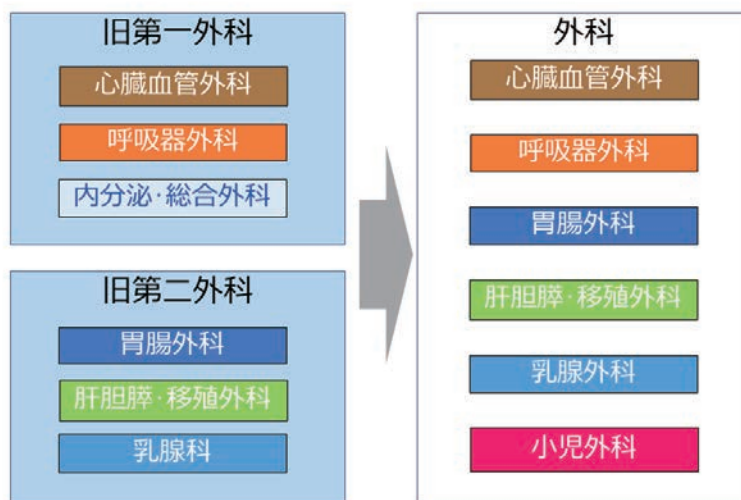
### 北陸全域の医療拠点 金沢大学附属病院



#### 外科の再編

令和2年4月に外科を6分野に再編しました。これまで「旧第一外科」「旧第二外科」と区分していた枠組みを外し、「外科」として一体的に運用することで、地域医療機関からの患者受け入れや、北陸三県を中心とした関連病院への医師派遣がより円滑になりました。

前年の内科再編に続く改革ですが、北陸の基幹病院として、診療、教育、研究のさらなる質向上を図っていきます。



#### がんゲノム医療の充実

令和元年9月、厚生労働省が指定する「がんゲノム医療拠点病院」の1つに選定され、令和2年1月には、がんゲノム医療に特化し、一人一人の体質や病状に合った医療を推進する「がんゲノム医療センター」を設立しました。がんゲノム検査やそれに基づく診断や治療を一貫して実施できるようになりました。

遺伝子変異に応じた最適な治療を提案する医療を推進していきます。

#### ドクターヘリの受け入れ開始

中央診療棟屋上にヘリポートを整備し、県の要請によるドクターヘリの受け入れを令和元年度から開始しました。

ヘリポートから救急部・手術部・集中治療部へは専用エレベーターで直結しており、迅速な対応が可能。救急現場から搬送された患者さんの救命に大きく貢献しています。



#### 病院食の改善

調理室をリニューアルし、最新の調理機器を活用したおかげで患者さんに好評を得ています。

減塩やカロリー制限、アレルギー対応など病院食にはさまざまな制約がありますが、この調理機器を使えば薄味でも食べ応え十分に仕上がります。食事は入院中の患者さんの数少ない楽しみですので、今後もレパートリーを充実させていきます。



## 社会貢献の特色ある取り組み

### さまざまな学びの機会の提供

講習会や研修事業、公開講座等を通してさまざまな学びの機会を提供し、個人の要望や社会の要請に応え、生涯学習の振興そして学びの「輪」の共創と循環に寄与します。

### 文部科学省「職業実践力育成プログラム」(BP)

本学で実施している3件のプログラムは、社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムとして文部科学大臣の認定を受けています。



Brush up Program  
for professional

#### 1. 能登里山里海 SDGs マイスタープログラム

世界農業遺産に認定された能登の里山里海を未来に伝える人材を養成するため、能登の豊かな地域資源を正しく評価し、多様な職種の人々との連携により、新たなビジネス創出と誇りある地域づくりにつなげることができる人材を育成します。また、珠洲市と本学が共同で出資（独自予算）し、これまでにない地域と大学の密接なネットワークを構築しています。

これらの人材育成や移住者の定着促進に向けた取り組みが、過疎高齢化の地域課題の解決を図るとともに、地域の地方創生に寄与していると評価され、全国イノベーション推進機関ネットワークが実施するイノベーションネットアワード 2018 において、**文部科学大臣賞を受賞**しました。

#### 2. 金沢大学社会教育主事講習

社会教育主事の資格付与を目的とし、社会教育主事に求められる資質・能力の向上と、学びを通じた絆づくり、活力あるコミュニティの形成に寄与する人材を育成しています。

講義のほか、県別研修・現地研修におけるフィールドワークやワークショップ、コミュニケーション力向上のための参加型学習により、地域の生涯学習コーディネーターとしての実践力を養成します。

#### 3.アントレプレナーシップ養成プログラム

地域資源を深く理解・活用し、地域で新産業や雇用等を創出し、地域の活性化及び発展につなげることができる起業家（アントレプレナー）や新規事業開発担当者（イントラプレナー）を養成するプログラムです。

### 金沢大学公開講座

価値観の多様化、高度化する学習ニーズに対応し、一人一人の自発的な学習活動を支援するため、幅広い分野の講座を企画し、生涯にわたる学びをサポートします。金沢市西町教育研修館内の金沢大学サテライト・プラザにおける講座のほか、遠隔地教育システムによる珠洲市内、小松市内、能登町内のサテライト施設への映像配信も行い、県内全域の学習ニーズに対応した学びを提供しています。



令和元年度 36 講座開設 受講者 808 名（うち遠隔地配信受講 82 名）

### 人生を“愉しむ”学び「ビートルズ大学」がスタート！

令和元年8月、金沢大学金沢駅前サテライトを拠点に「ビートルズ大学」をスタートしました。このプログラムは、合同会社オフィスケチャップとの連携により実施しているもので、「人生100年時代」を豊かに愉しむための新たな学びを提供しています。

本学は、専門的知識の習得だけではなく、歴史、文化、サブカルチャー、自己啓発など、これからの人生を豊かにする学びを開発・提供します。



## 社会貢献の特色ある取り組み

### 社会共創によるアントレプレナーシップ教育の実施

先端技術の普及に伴う大変革期には、社会のニーズや変化を感じ取り、課題解決に向けて主体的に行動する力が求められます。本学は積極的な社会共創により、学生のアントレプレナーシップを育みます。

#### アイデアソン・ハッカソン

自治体や企業と連携し、ビジネスアイデアを創造する「アイデアソン」や先端技術を活用したサービスなどの開発に挑戦する「ハッカソン」を開催しています。参加学生は、課題発見から成果発表までの一連の流れを、限られた時間内にチームで協働して実践することで、アントレプレナーシップを身につけます。

##### ●北陸農政局との共創によるアイデアソン「アグリソン」

北陸農政局との共創で、広く学生に農業や地域の現状を学び、関心を持つ機会を提供することにより、従来の考え方に捉われない斬新な発想で農業や食品産業が抱える課題の解決策を考え、社会実装を目指すことを目的として実施しました。学生・農業者・プランナー・銀行員で構成される複数のグループに分かれ、各グループにおいて、学生らが農業現場での経験や大学での学びなどを踏まえ事前に検討した課題の解決策を発表し、それを基にビジネスプランを練り上げていきました。

##### ●加賀市との共創によるハッカソン「マーケティングハッカソン」

加賀市との連携の下で「地方創生 IoT×動画マーケティングハッカソン in 加賀」を開催。IoT（モノのインターネット）や動画といったデジタル技術を活用して加賀市の地域資源及び観光資源の魅力発信を考えることを目的に実施したもので、学生らは、ハッカソンを通じ、地域資源の有効活用やAI（人工知能）・IoTなどの最新技術による地域課題解決への理解を深めました。

### 2040年の仕事論

石川県との連携により、地域の次代を担う学生に必要なアントレプレナーシップを養うことを目的として令和元年度から科目を開講しました。起業家としての経験を持つ8人の有識者を外部講師として招き、21世紀の働き方、事業創造の考え方、地域の可能性など、テーマに応じた講義を通じて、主体性を持って行動する重要性を学びます。

### 合同会社 DMM.com と連携協定&新エネルギー・産業技術総合開発機構と覚書を締結



令和元年11月19日、合同会社 DMM.com と地方創生に資するアントレプレナーシップ教育推進に関する連携協定を締結しました。DMM.com の起業ノウハウと本学の教育・研究成果を融合し、相乗効果を発揮することで、学生のアントレプレナーシップ教育のほか、起業家輩出に向けた環境構築、起業家の地域定着など地方創生に資する取り組みを加速させることを目指します。

また、令和元年11月20日には、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）と起業家支援に係る相互協力の覚書を締結しました。相互協力し、相乗効果を発揮することで、本学発ベンチャー創出のほか、ベンチャー支援人材やオープンイノベーションを生み出す人材の育成、学生のアントレプレナーシップ教育を一層推進することを目指します。





## 留学・国際交流の状況

### 日本人学生と外国人留学生がともに学ぶ環境の醸成

学生交流の覚書を締結している交流協定校と相互に学生派遣と受入を行い、また、特別な協定に基づいた政府派遣留学生の受入や国費外国人留学生の優先配置プログラム等を通じて、日本人学生と外国人留学生が切磋琢磨し、学び合える環境作りを行っています。

#### 在学中に1度は海外へ！学生の海外経験の奨励

本学では、交流協定校への長期の派遣留学制度、語学研修や特定のプログラム等による短期留学制度があり、学生の積極的な参加を呼びかけています。また、それらの留学を支援する奨学金制度を設けています。

#### 派遣留学（3か月～1年）

アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、フィンランド、ロシア、中国、台湾、マレーシア、タイ等の本学交流協定校

（令和元年度参加学生数：65人、うち日本学生支援機構又は金沢大学の奨学金受給者数：54人）

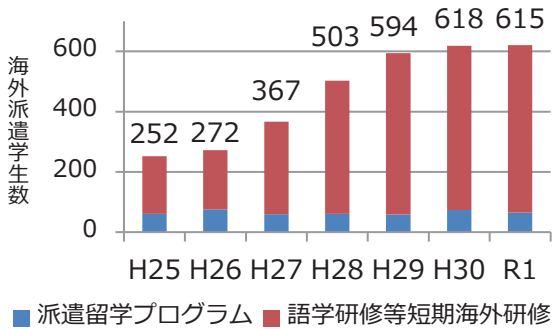
#### 語学研修等短期海外研修（1～6週間）

ファーストステップ（タイ、ロシア、中国、台湾）、インターンシップ（世界遺産、YKK、HISなど）、英語研修（エジンバラ大学、ワイカト大学）ほか  
（令和元年度参加学生数：550人、うち日本学生支援機構又は金沢大学の奨学金受給者数：442人）

#### 官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム～による派遣

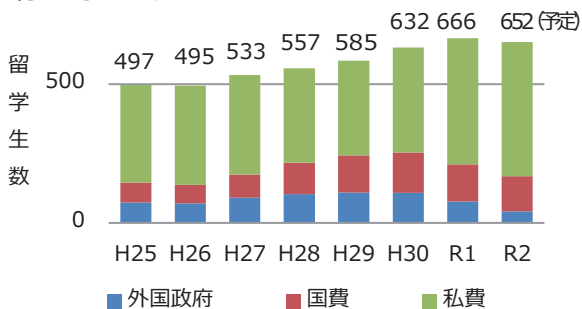
令和元年度派遣数：17人

（平成26年度からの派遣数累計：91人）



#### 優秀な留学生受入の促進

学生交流の覚書を締結している交流協定校と相互に学生派遣と受入を行い、また、特別な協定に基づいた政府派遣留学生の受入や国費外国人留学生の優先配置プログラム等を通じて、日本人学生と外国人留学生が切磋琢磨し、学び合える環境作りを行っています。



#### 国際交流協定の拡充

本学は、世界46か国1地域の機関と協定を締結し、なかでも重点的に学生交流・研究交流を行う19の重点交流校を定め、海外の卓越した大学との戦略的な教育研究連携を推進しています。

令和2年5月1日現在

総数280機関（46か国1地域）

| 国際交流協定地域別内訳 | 大学間 | 部局間 | 計   |
|-------------|-----|-----|-----|
| アジア         | 124 | 51  | 175 |
| ヨーロッパ       | 29  | 16  | 45  |
| 北米          | 12  | 4   | 16  |
| 中南米         | 8   | -   | 8   |
| ロシア及びNIS    | 11  | 2   | 13  |
| オセアニア       | 6   | 3   | 9   |
| 中東          | 6   | 1   | 7   |
| アフリカ        | 3   | 2   | 5   |
| 国際機関        | 1   | 1   | 2   |
| 計           | 200 | 80  | 280 |

#### 国際感覚を育むキャンパス環境

##### 学生・留学生宿舍【先魁】、【北溟】

国際交流を推進しグローバル人材を育成することを目的に、角間キャンパス内に外国人留学生と日本人学生が1つのユニット（男女別）で生活するシェアハウス型の宿舍を設置しています。



##### 国際交流ルーム

留学生と日本人学生の「学び」を通じた交流の促進を目的として、「国際交流ルーム」をキャンパス内に設置しています。



### 教職員・学生の英語力向上をサポート！

#### 金沢大学スーパーグローバル ELP センター※

全学の英語能力向上のため、学生・教職員向けに英語研修プログラムを開講しています。

（センター設置：

平成27年3月）

※ELP: English Language Programs



## 留学・国際交流の状況

# 留学・国際交流の拡大を多面的に支えるネットワークとサポーター

### 海外リエゾンオフィス

本学では、現地学生のリクルートや現地入試、留学のためのサポート、現地との共同研究や海外インターンシップ等の拠点として、13か国に26カ所の海外リエゾンオフィスを設置しネットワークの拡充を進めています。

### コラボラティブ・プロフェッサー制度

本学の卒業生・修了生等で、海外の高等教育機関に所属し、本学の国際化の推進を支援する教員等に委嘱し、海外現地での学生募集、派遣学生のフォローアップや国際共同研究の推進等の支援を得ています。  
令和2年5月1日現在：162名



### 海外同窓会

アメリカ支部 (H21)、ベトナム (H25)、ミャンマー (H25)、タイ (H26)、中国 (H26)、インドネシア (H27)



帰国留学生の交流ネットワーク構築の支援をしています。また、各同窓会の代表者が一堂に会する同窓会総会を隔年で実施しています。



### 国際交流アドバイザー制度

学外者に「海外レジデントアドバイザー」、 「国際インターンシップアドバイザー」又は「留学生支援地域アドバイザー」を委嘱しています。

### 国際連携強化教員

海外に強いネットワークを持つ学内者に任命し、国際化推進を強化しています。

### 国立六大学国際連携機構 (SUN/SixERS)

千葉大、新潟大、岡山大、長崎大、熊本大と連携し、各大学の強みを生かして、国際的プレゼンスの向上を図っています。



1. 共同学生交流プログラムの実施
2. 海外の有力大学連合 (AUN 等) との交流推進
3. 国際化に資するための共同事業

### ASEAN University Network

ASEAN University Network (AUN) は、ASEAN10カ国の大学が加盟する国際大学連合です。本学は、AUN加盟大学に、日本、中国、韓国の3カ国の大学を加えた ASEAN+3 UNet に加盟し、世界各地と学生交流、研究者交流や共同研究を積極的に実施しています。令和2年には本学が幹事を務め、日本で初めての開催となる ASEAN+3 Rectors' Conference を金沢で開催する予定です。

## 海外拠点を活用した世界トップレベル大学等との研究交流

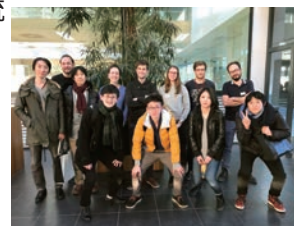
### 国際共同シンポジウム

若手研究者を中心とした研究交流を促進しています。実績例：中国・清華大学、台湾・国立成功大学、ロシア・カザン連邦大学等、タイ・モンクット王工科大学 トンブリ校、ドイツ・デュッセルドルフ大学



### 大学院生研究交流会

大学院生同士の研究交流会の開催を促進しています。実績例：中国・清華大学 (令和元年5月)、台湾・台南 (同7月)、タイ・バンコク (同8月)



### 国際化を加速する事業

#### ・大学の世界展開力強化事業 (ロシア) (平成29～令和3年度)

ロシアの連携機関と学生交流プログラム (文化、理工系分野、医学系分野) を実施し、日露をつなぐリーダー人材を育成します。将来的には、大学間交流を地域間交流に展開します。

#### ・留学生就職促進プログラム (平成29～令和3年度)

#### ・日本海外留学拠点連携推進事業 (令和元年度～)

※採択機関：岡山大学



ロシア文化交流プログラムで神輿を担ぐロシアからの留学生

## 学習支援

### 入学から卒業・修了までの手厚い支援

#### ラーニングサポートデスク

授業外における教育・学修支援を担うクラス・ラーニング・アドバイザー(CLA)、授業とは紐づかない一般的な「学習」支援を行う附属図書館のラーニング・アドバイザー(LA)、留学生ラーニング・コンシェルジュ(LeCIS)が多様な学びに対応します。個人相談やランチオンセミナーを通し、入学直後から大学での学びを支援する体制を整備しています。



#### LA 及び LeCIS の活動

時 間：月～金(13:00～16:15) ※休業期間中を除く。

場 所：中央図書館3階・自然科学系図書館 G1 階(LeCISのみ)

対応内容：①学生に対する学習支援、レポート・論文の書き方、プレゼンテーションの方法

②講義の受け方、ノートのとり方、テキストの読み方、資料文献の探し方、外国語学習支援

#### なんでも相談室「～よるまっし～」

「よるまっし」は、金沢の方言で「寄っていきなさい」、「寄ってみませんか」という意味です。気軽に寄っていただけるようにとサブタイトルに取り入れました。

時間・場所：授業期間中の平日、総合教育講義棟2階

予約受付：電話、メールで予約受付が可能

相談体制：教員及び学生相談員による相談体制

必要に応じ専門分野の教員や保健管理センターなどを紹介することもあり

対応内容：悩みや相談に応じてアドバイスやサポートを実施 相談内容は秘匿



#### 障がい学生支援室

全学的な障がい学生支援体制の整備のため、平成27年度に設置しました。障がい学生のニーズを把握し、障がいの状況に応じてノートテイク、パソコンテイクや学習支援チューターの配置など、適切な教育上の配慮や支援を行っています。



#### 英語学習アドバイザーの配置

日本語も堪能な英語のネイティブスピーカーが、総合教育1号館2階のアドバイジング・ルームに常駐しています。日常的に英会話が可能なお場として、英語によるコミュニケーション能力の向上や、留学相談等の目的で多くの学生が訪れ、留学の意義や適切なアドバイスを行い、留学の後押しをしています。

## 経済支援

#### 修学支援新制度(学士課程)

経済的な理由で学び続けることをあきらめないよう、令和2年4月から大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免制度の創設と併せて日本学生支援機構の給付奨学金の対象が拡大されました。対象は住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生(日本国籍、法定特別永住者、永住者又は永住の意思が認められる定住者)です。修学支援新制度に申込み、支援対象となった場合は、世帯の所得金額に基づく支援区分【第Ⅰ区分(全額)、第Ⅱ区分(2/3免除)、第Ⅲ区分(1/3免除)】に応じて入学料及び授業料を減免します。さらに支援区分に応じた給付奨学金が支給されます。

#### 修学支援新制度における授業料及び入学料の減免額(R2年度)

| 支援区分 | 減免額          | 納付必要額    |           |
|------|--------------|----------|-----------|
|      |              | 授業料(半期)  | 入学料(1回限り) |
| 第Ⅰ区分 | 全額           | 0円       | 0円        |
| 第Ⅱ区分 | 第Ⅰ区分の減免額の2/3 | 89,300円  | 94,000円   |
| 第Ⅲ区分 | 第Ⅰ区分の減免額の1/3 | 178,600円 | 188,000円  |
| それ以外 | なし           | 267,900円 | 282,000円  |



## 経済支援

### 入学金免除・入学金徴収猶予

学域学生には学資負担者の死亡・災害により、大学院学生には経済的な理由及び優秀な学業成績により、選考のうえ、入学金の全額又は半額を免除する制度や、入学金の納入を猶予する制度があります。

### 授業料免除（修学支援新制度対象者以外）

経済的な理由によって授業料の納付が困難な学生で、かつ学業成績優秀と認められる学生には、選考のうえ、授業料の全額、半額又は一部を免除する制度があります。

### 学外奨学金

本学が取り扱う奨学金は、日本学生支援機構奨学金、地方公共団体及び民間育英団体の奨学金です。奨学生の条件は、主に学業成績が優秀で学資支弁が困難である者です。

募集中の奨学金は、金沢大学 Web サイト> 在学生> 経済支援にて公開しています。

### 奨励金〔令和元年度の実績〕※大学院学生にはさらに手厚い給付型・雇成型奨学制度があります。

- 法務研究科学生奨励支援 月額5万円 : 5名
- 異分野融合型人材育成「大学院 GS プログラム」奨学金 月額5万円 : 17名
- スタディーアブロード奨学金
  - ・ 大学院研究交流枠（派遣）（学会、研修、研究及びラボローテーション等） : 54名  
留学期間7日以内5万円, 8日以上1年以内 JASSO 海外留学支援制度（協定派遣）（以下、JASSO）と同額・同じ給付期間※1
  - ・ 学域・大学院派遣枠 a（派遣留学） : 12名  
① JASSO の成績基準を満たす者：JASSO と同額・同じ給付期間※1  
② 同上を満たさない者：JASSO と同額を1ヶ月分のみ支給
  - ・ 学域・大学院派遣枠 b・c : 177名  
(b. JASSO に採択された本学の公式海外派遣プログラム) JASSO と同額・同じ給付期間※1  
(c. 本学の公式海外派遣プログラム, 個人留学, その他の海外研修)  
JASSO の月額1万円減を留学期間に関わらず1ヶ月分のみ支給※2
  - ・ 外部奨学金獲得支援枠（トビタテ！留学 JAPAN 等の面接旅費支援） : 31名  
東京：25,000円, その他の地域：国内交通費相当分
  - ・ 在籍延長支援枠 : 前期 35名, 後期 43名  
(海外留学により, 修業年限（標準修業年限）を超えて在籍する学生）年額：50万円（半期：25万円）
  - ・ 派遣留学報告会アワード : 3グループ（3名）  
(派遣留学報告会で優秀な発表を行った者) 1位：5万円, 2位：3万円, 3位：2万円  
※1 月額/指定都市 10万円, 甲地域 8万円, 乙地域 7万円, 丙地域 6万円  
※2 月額/指定都市 9万円, 甲地域 7万円, 乙地域 6万円, 丙地域 5万円
- 官民協働海外留学支援制度 ～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～  
R 元年度実績： 第10期 全国枠3名, 地域枠1名 計4名  
第11期 全国枠7名, 地域枠1名 計8名

### 就職支援室では 就職活動をサポート

- ・ 就職ガイダンスの開催
- ・ 就職個別相談の実施
- ・ インターンシップ受入先の紹介
- ・ インターンシップ参加手続き
- ・ 企業研究会等就職支援プログラムの実施
- ・ 求人情報の提供
- ・ 就職活動関連書籍の貸出し
- ・ 学生向け就職ハンドブックの発行
- ・ 企業対象刊行物の発行 ほか



| 区分                | 日程          | 対象学年     | 行事            |
|-------------------|-------------|----------|---------------|
| 共通プログラム           | 11月         | 2年       | 進路ガイダンス       |
|                   | 4月          | 3年, 修士1年 |               |
|                   | 5月, 6月      | 全学年      | インターンシップガイダンス |
|                   | 12月         |          | OB・OG懇談会      |
| 産業界志望者<br>対象プログラム | 4月～2月       |          | キャリア支援イベント    |
|                   | 10月～1月      | 3年, 修士1年 | 就職ガイダンス       |
|                   | 7月, 10月～12月 | 全学年      | 業界・職種ガイダンス    |
|                   | 2月中旬, 3月上旬  | 3・4年,    | 企業研究会         |
|                   | 3月～7月       | 修士1・2年   | 面接練習会         |
| 公務員志望者<br>対象プログラム | 9月          | 4年, 修士2年 | 合同企業説明会       |
|                   | 4月～2月       | 3・4年,    | 公務員ガイダンス      |
|                   | 3月～7月       | 修士1・2年   | 面接練習会         |
| 教員志望者<br>対象プログラム  | 10月～11月     | 3年, 修士1年 | 教員就職ガイダンス     |
|                   | 4月～12月      | 3・4年,    | 教員採用試験説明会     |
|                   | 6月          | 修士1・2年   | 面接・模擬授業練習会    |

主な行事

## 進学・就職状況

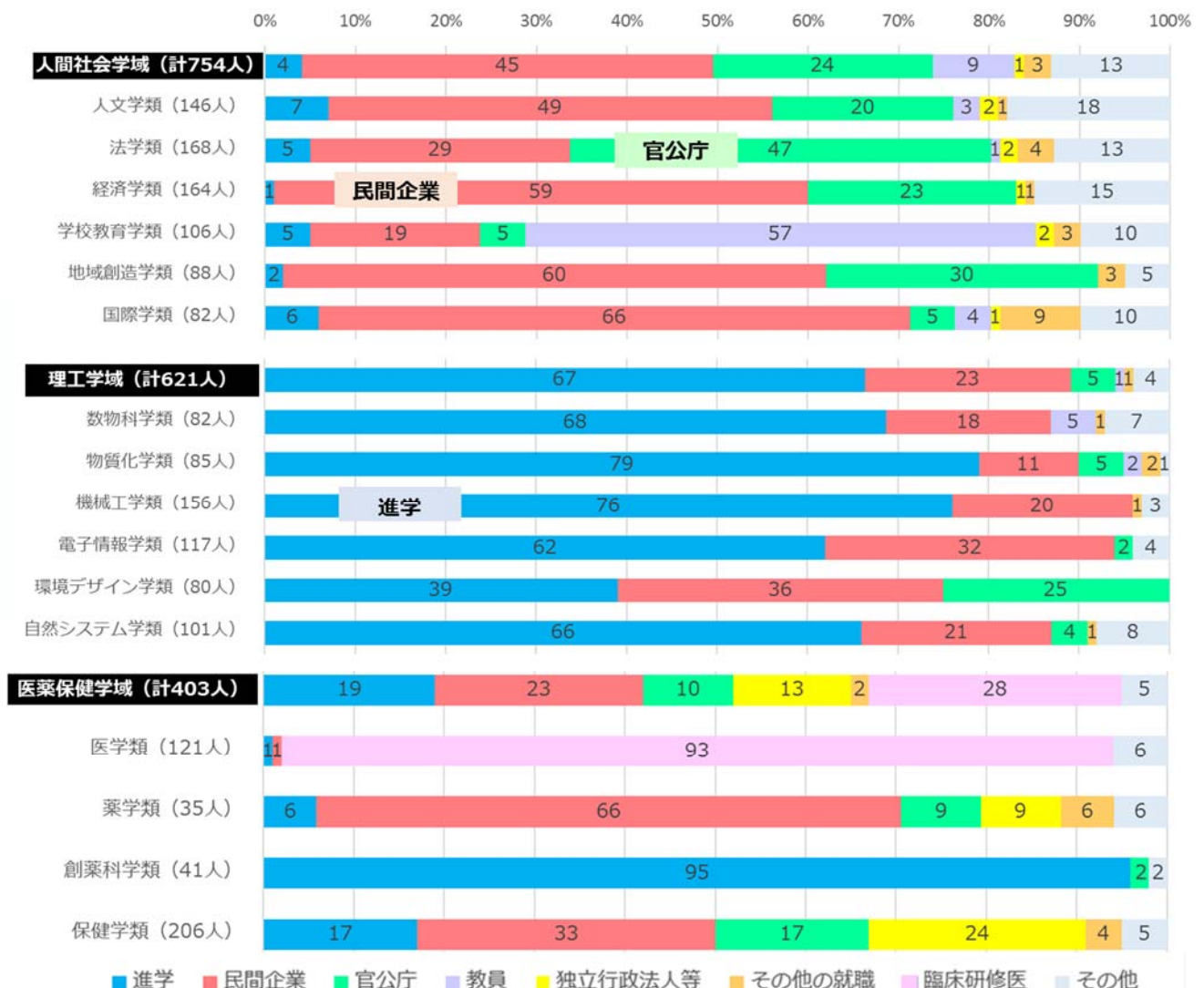
本学の令和元年度卒業生（学士課程）の就職率（就職決定者÷就職希望者×100）は98.9%と、前年に続き高い水準で推移しています。また、「大学で学んだ専門分野をもっと深めたい」という学問探究への意欲あふれる学生や「法曹を目指したい」という学生には、大学院進学を強く推奨しています。

進路の特徴は、人間社会学域は官公庁への就職者が多く、理工学域は66%が大学院に進学しており、医薬保健学域は医療機関への就職者が多いことが挙げられます。

### 令和元年度 国家試験合格実績及び公務員・教員就職者〔大学院進学者は29%・518名〕

| 国家試験合格実績 |              | 公務員就職者         |      | 教員就職者   |      |
|----------|--------------|----------------|------|---------|------|
| 試験       | 合格者          | 試験             | 就職者  | 採用      | 就職者  |
| 司法       | 4名           | 国家公務員 総合職〔旧Ⅰ種〕 | 2名   | 正規〔新卒〕  | 143名 |
| 医師〔新卒〕   | 114名（合格率94%） | 国家公務員 一般職〔旧Ⅱ種〕 | 41名  | 非正規〔新卒〕 | 32名  |
| 薬剤師〔新卒〕  | 35名（合格率100%） | 国家公務員 専門職ほか    | 40名  |         |      |
| 看護師〔新卒〕  | 72名（合格率97%）  | 地方公務員 石川県内     | 79名  |         |      |
|          |              | 地方公務員 石川県外     | 146名 |         |      |

### 卒業生進路状況



# 入試情報

## 新学域始動！学びの可能性を広げる4学域・18学類

後期日程を廃止し、新たに「KUGS特別入試」「超然特別入試」を導入します。

### 募集人員（令和3年度入試）

令和2年4月現在

| 学域・学类等   | 入学定員       | 募集人員  |      |          |         |        |             |        |             |           |       |        |         |            |     |     |
|----------|------------|-------|------|----------|---------|--------|-------------|--------|-------------|-----------|-------|--------|---------|------------|-----|-----|
|          |            | 一般選抜  |      | KUGS特別入試 |         |        |             |        | 特別選抜        |           |       |        |         |            |     |     |
|          |            | 前期日程  | 一括入試 | 総合型選抜    | 学校推薦型選抜 | 英語総合選抜 | A-lympiad選抜 | 超然文学選抜 | 薬学類・高大院接続入試 | 在外留学生推薦入試 | 社会人入試 | 帰国子女入試 | 国際ハコロ入試 | 私費外国人留学生入試 |     |     |
| (仮称)融合学域 | 先導科学類(仮称)☆ | 55    | 40   | II       | 2       | —      | II          | 2      | 若干名         | 若干名       | —     | 5      | 若干名     | 若干名        | 若干名 | 若干名 |
| 人間社会学域   | 人文学類       | 141   | 123  | II       | 5       | —      | —           | 若干名    | 若干名         | —         | —     | —      | 若干名     | 若干名        | 若干名 | 若干名 |
|          | 法学類        | 160   | 135  | II       | 10      | —      | —           | 若干名    | —           | —         | —     | —      | 若干名     | 若干名        | 若干名 | 若干名 |
|          | 経済学類       | 131   | 106  | —        | I       | 10     | —           | 若干名    | —           | —         | —     | —      | 若干名     | 若干名        | 若干名 | 若干名 |
|          | 学校教育学類     | 85    | 58   | II       | 18      | 3      | II          | 7      | 3           | 2         | —     | —      | —       | —          | 若干名 | 若干名 |
|          | 地域創造学類     | 88    | 63   | II       | 15      | —      | —           | —      | —           | —         | —     | —      | —       | 若干名        | 若干名 | 若干名 |
|          | 国際学類       | 83    | 53   | I        | 20      | —      | —           | 若干名    | 若干名         | —         | —     | —      | —       | 若干名        | 若干名 | 若干名 |
|          | 計          | 688   | 538  | 68       | 17      | —      | —           | —      | —           | —         | —     | —      | —       | —          | —   | —   |
| 理工学域     | 数物科学類      | 82    | 71   | II       | 3       | —      | —           | 若干名    | —           | —         | —     | —      | 若干名     | 若干名        | 若干名 | 若干名 |
|          | 物質化学類      | 79    | 69   | II       | 3       | —      | —           | 若干名    | —           | —         | —     | —      | 若干名     | 若干名        | 若干名 | 若干名 |
|          | 機械工学類      | 97    | 239  | II       | 3       | —      | —           | 若干名    | —           | —         | —     | —      | —       | 若干名        | 若干名 | 若干名 |
|          | フロンティア工学類  | 107   | 84   | —        | —       | —      | —           | 若干名    | —           | —         | —     | —      | —       | 若干名        | 若干名 | 若干名 |
|          | 電子情報通信学類   | 78    | 68   | II       | 3       | —      | —           | 若干名    | —           | —         | —     | —      | —       | 若干名        | 若干名 | 若干名 |
|          | 地球社会基盤学類   | 98    | 80   | II       | 3       | II     | 5           | —      | 若干名         | —         | —     | —      | —       | 若干名        | 若干名 | 若干名 |
|          | 計          | 599   | 508  | 18       | 5       | —      | —           | —      | —           | —         | —     | —      | —       | —          | —   | —   |
| 医薬保健学域   | 医学類(6年制)   | 112   | 84   | —        | II      | 27     | —           | —      | —           | —         | —     | —      | 若干名     | —          | 若干名 |     |
|          | 薬学類(6年制)   | 65    | 53   | —        | —       | —      | —           | —      | —           | 10        | —     | —      | 若干名     | 若干名        | 若干名 |     |
|          | 医薬科学類(仮称)☆ | 18    | 18   | —        | —       | —      | —           | 若干名    | —           | —         | —     | —      | 若干名     | 若干名        | 若干名 |     |
|          | 看護学専攻      | 79    | 64   | —        | II      | 14     | —           | —      | —           | —         | —     | —      | 若干名     | 若干名        | 若干名 |     |
|          | 放射線技術科学専攻  | 40    | 36   | —        | II      | 3      | —           | —      | —           | —         | —     | —      | 若干名     | 若干名        | 若干名 |     |
|          | 検査技術科学専攻   | 40    | 32   | —        | II      | 6      | —           | —      | —           | —         | —     | —      | 若干名     | 若干名        | 若干名 |     |
|          | 理学療法専攻     | 15    | 20   | —        | II      | 5      | —           | —      | —           | —         | —     | —      | —       | 若干名        | 若干名 | 若干名 |
|          | 作業療法専攻     | 15    | 10   | —        | II      | 5      | —           | —      | —           | —         | —     | —      | —       | 若干名        | 若干名 | 若干名 |
|          | 小計         | 189   | 152  | —        | 33      | —      | —           | —      | —           | —         | —     | —      | —       | —          | —   | —   |
|          | 計          | 384   | 307  | —        | 60      | —      | —           | —      | —           | 10        | —     | —      | —       | —          | —   | —   |
| 合計       | 1,726      | 1,393 | 146  | 88       | 82      | 2      | —           | —      | 10          | 5         | —     | —      | —       | —          | —   |     |

【注意】1. 記載事項は全て「予定(案)」であり、今後「変更もあり得る」ことを特に記します。

2. 出願前には、必ず最新の情報を本学 Web サイト及び学生募集要項で確認してください。

3. KUGS特別入試において、I は大学入学共通テストを課さない入試、II は大学入学共通テストを課す入試を指します。

☆ 令和3年4月の設置に向け申請中であり、変更があり得ます。

\*1 理工学域機械工学類、フロンティア工学類、電子情報通信学類の一般選抜(前期日程)は、3学類一括で実施します。

\*2 保健学類の理学療法専攻、作業療法専攻の一般選抜(前期日程)は、2専攻併願で実施します。

出願時に第1志望及び第2志望の専攻の選択が必要です。また専攻別に合格者を発表します。



## 志願倍率（令和2年度入試）

| 学域・学类等         |   | 前期日程      |      |      | 後期日程  |      |      |     |
|----------------|---|-----------|------|------|-------|------|------|-----|
|                |   | 募集人員      | 志願者数 | 志願倍率 | 募集人員  | 志願者数 | 志願倍率 |     |
| 人間<br>社会<br>学域 | 人文学類  | 100       | 202  | 2.0  | 32    | 295  | 9.2  |     |
|                | 法学類   | 115       | 210  | 1.8  | 30    | 241  | 8.0  |     |
|                | 経済学類  | 110       | 157  | 1.4  | —     |      |      |     |
|                | 学校教育学類  | 64        | 149  | 2.3  | —     |      |      |     |
|                | 地域創造学類  | 55        | 85   | 1.5  | 10    | 208  | 20.8 |     |
|                | 国際学類  | 48        | 106  | 2.2  | 15    | 162  | 10.8 |     |
| 理工<br>学域       | 数物科学類   | 64        | 99   | 1.5  | 12    | 83   | 6.9  |     |
|                | 物質化学類   | 55        | 119  | 2.2  | 18    | 118  | 6.6  |     |
|                | 理工3学類前期一括入試<br>（機械工学類<br>フロンティア工学類<br>電子情報通信学類） | 252       | 422  | 1.7  | —     |      |      |     |
|                | 地球社会基盤学類  | 78        | 126  | 1.6  | 12    | 97   | 8.1  |     |
|                | 生命理工学類  | 50        | 83   | 1.7  | —     |      |      |     |
| 医薬<br>保健<br>学域 | 医学類   | 84        | 312  | 3.7  | —     |      |      |     |
|                | 薬学類・創薬科学類                                       | 64        | 199  | 3.1  | —     |      |      |     |
|                | 保健<br>学類  | 看護学専攻     | 55   | 133  | 2.4   | 9    | 52   | 5.8 |
|                |   | 放射線技術科学専攻 | 29   | 88   | 3.0   | 5    | 44   | 8.8 |
|                |   | 検査技術科学専攻  | 29   | 61   | 2.1   | 3    | 23   | 7.7 |
|                |   | 理学療法学専攻   | 15   | 57   | 3.8   | —    |      |     |
|                |   | 作業療法学専攻   | 14   | 23   | 1.6   | —    |      |     |
| 文系後期一括入試       | —   |           |      | 62   | 338   | 5.5  |      |     |
| 理系後期一括入試       | —   |           |      | 82   | 524   | 6.4  |      |     |
| 合計             | 1,281   | 2,631     | 2.1  | 290  | 2,185 | 7.5  |      |     |

### 入学者都道府県別内訳 （令和2年度入試）

入学者の地域別内訳の順は、以下のとおりです。

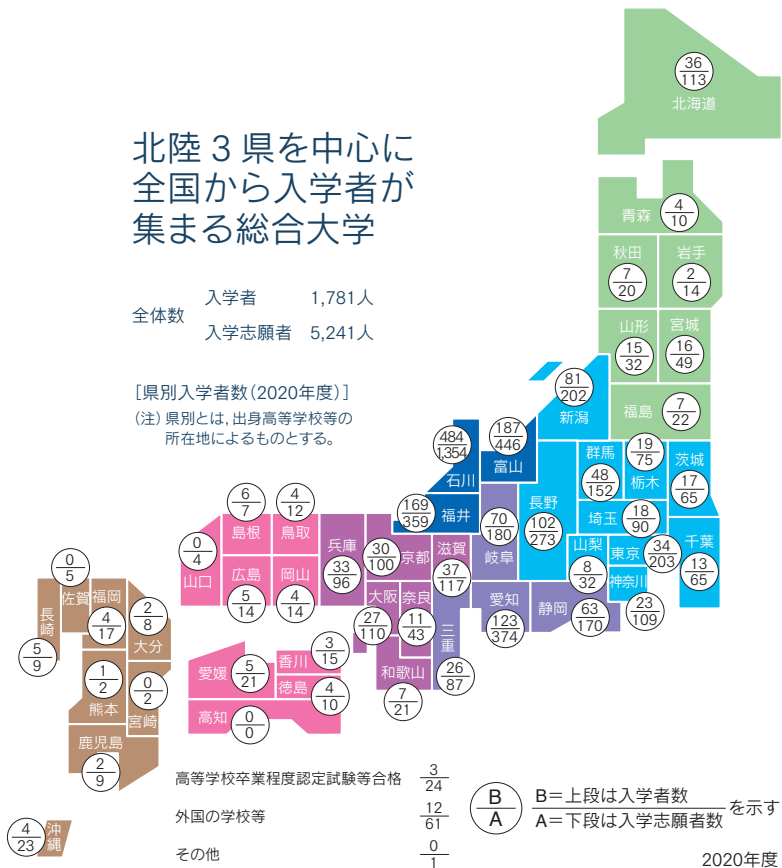
- 北陸3県 47.2% (46.7%)
- 関東・甲信越地域 20.4% (19.4%)
- 東海地域 15.8% (17.4%)
- 近畿地域 8.1% (7.5%)

※( )内数字は平成31年度内訳

### 北陸3県を中心に 全国から入学者が 集まる総合大学

全体数 入学者 1,781人  
入学志願者 5,241人

〔県別入学者数(2020年度)〕  
(注) 県別とは、出身高等学校等の所在地によるものとする。



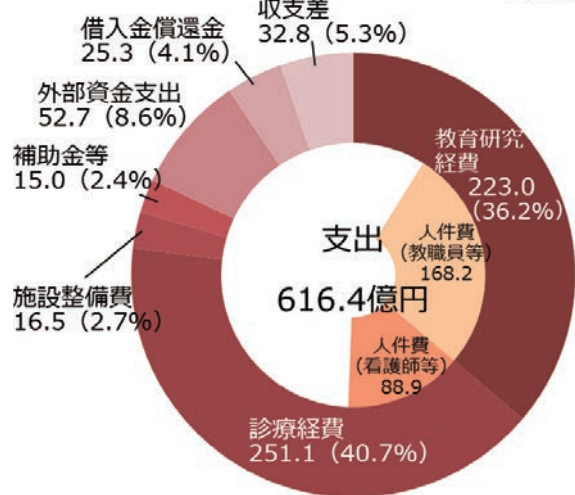
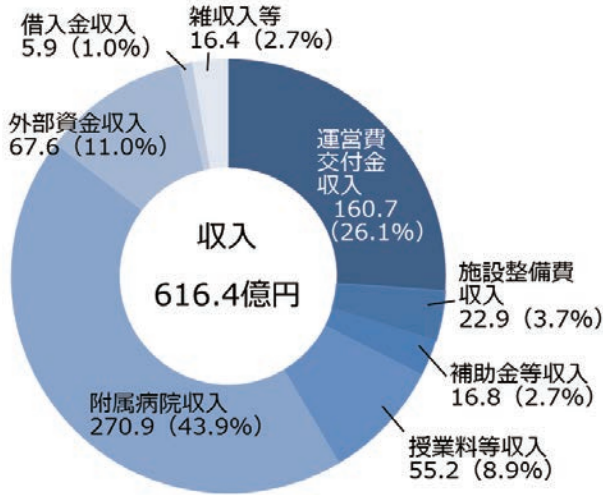
# 財務状況

## ～ 困難な財政状況に立ち向かう金沢大学の今 ～

### 金沢大学の財務状況

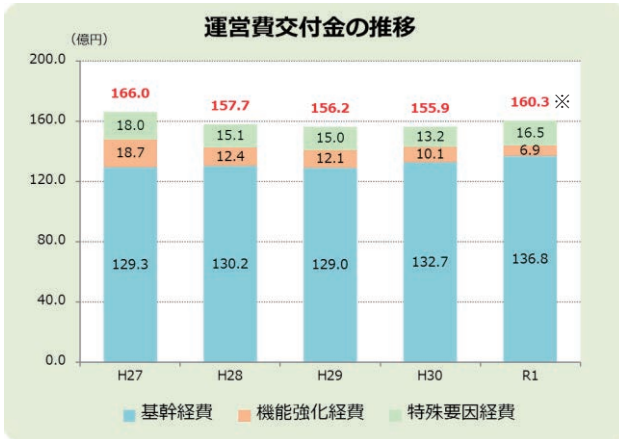
令和元事業年度 速報値：収支決算ベース

(単位：億円)



収支差 32.8 億円は、次年度繰越等となります。

### 運営費交付金について



※上記財務状況の運営費交付金収入との差額は前年度からの繰越分です。

運営費交付金は大学の業務運営の基盤となる財源として、国から毎事業年度交付されます。

令和元年度は約 160 億円が交付され、これは**本学収入合計額の約 26%**に相当します。

令和元年度の本学への運営費交付金は、**平成 30 年度に比べて約 4 億円増加**していますが、これは国から財源措置される教職員への退職手当によるもの(使用目的が特定されている変動経費)が主な要因であり、一過性の増加です。

本学の大学運営の基盤となる基幹運営費交付金は前年度と同規模を維持しているものの、引き続き安定した自己収入の確保、外部資金の更なる獲得及び業務コストの削減に努め、財政基盤の強化を図っていきます。

運営費交付金には、①大学運営の基盤となる「基幹運営費交付金」、②大学独自のプロジェクトや大学改革などに充てる「機能強化経費」、③退職手当や特殊要因等の変動的な経費として「特殊要因経費」があります。

### 自治体との比較

本学の令和 2 年度予算額は約 644 億円です。金沢大学の予算額を地方自治体の令和 2 年度一般会計予算額と比較すると、石川県の約 1/10、金沢市の約 1/3 となっています。

【令和 2 年度 一般会計当初予算額】

| 石川県        | 金沢市        |
|------------|------------|
| 約 5,941 億円 | 約 1,742 億円 |

【石川県に及ぼす経済波及効果】

| 金沢大学     | 北陸新幹線      |
|----------|------------|
| 約 870 億円 | 約 1,680 億円 |

本学の石川県への経済波及効果については、北陸新幹線の開通による波及効果の約 1/2 という推計もあることから、地域経済の活性化に大きく貢献しているといえます。

(平成 30 年 本学教員の研究データによる)

## 教育関係経費について

令和元年度の学生の教育に要した経費は約149億円となり、平成30年度に比べて、約2億円減少しました。これは、国等から交付される教育目的による補助金の受入額が減少したことが主な要因です。

この教育関係経費を学生一人当たり換算すると、年間約147万円が学生の教育目的に使用した金額となります。これらは、本学が掲げる「専門知識と課題探求能力、そして国際感覚と倫理感を有する人間性豊かな人材の育成」という教育目標の達成のために活用しています。

教育関係経費の内訳

(単位：百万円)

| 区分                  | H30年度         | R1年度          | 増減           |
|---------------------|---------------|---------------|--------------|
| 教育経費                | 2,935         | 2,643         | △ 292        |
| 教育研究支援経費            | 803           | 665           | △ 138        |
| 教員人件費 <sup>*1</sup> | 10,583        | 10,814        | +231         |
| 職員人件費 <sup>*2</sup> | 771           | 761           | △ 10         |
| <b>合計</b>           | <b>15,092</b> | <b>14,883</b> | <b>△ 209</b> |
| 学生数                 | 10,227人       | 10,139人       | △ 88人        |
| 学生一人当たりの教育関係経費      | 約148万円        | 約147万円        | △ 約1万円       |

\*1 教員人件費については、教育を目的とした部署に所属する教員の人件費です。

\*2 職員人件費については、学生部及び3学域における学生課職員の人件費です。

## 研究関係経費について

研究関係経費の内訳

(単位：百万円)

| 区分               | H30年度        | R1年度         | 増減          |
|------------------|--------------|--------------|-------------|
| 研究経費             | 5,064        | 4,789        | △ 275       |
| 外部資金             | 4,181        | 4,917        | +736        |
| <b>合計</b>        | <b>9,245</b> | <b>9,706</b> | <b>+461</b> |
| 常勤教員数            | 1,182人       | 1,202人       | +20人        |
| 常勤教員一人当たりの研究関係経費 | 約782万円       | 約807万円       | +約25万円      |

令和元年度の研究に要した経費は約97億円となり、平成30年度に比べ、約4.6億円増加しました。

この増加は、外部資金の獲得に努めたことから前年度を上回る規模となっています。

この研究関係経費を常勤教員一人当たり換算すると年間約807万円となります。

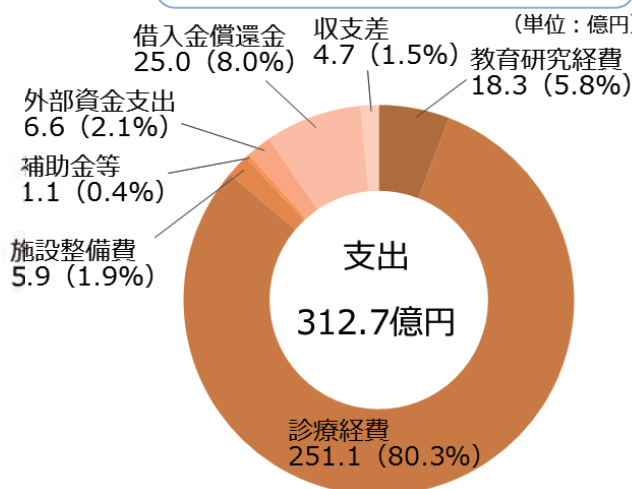
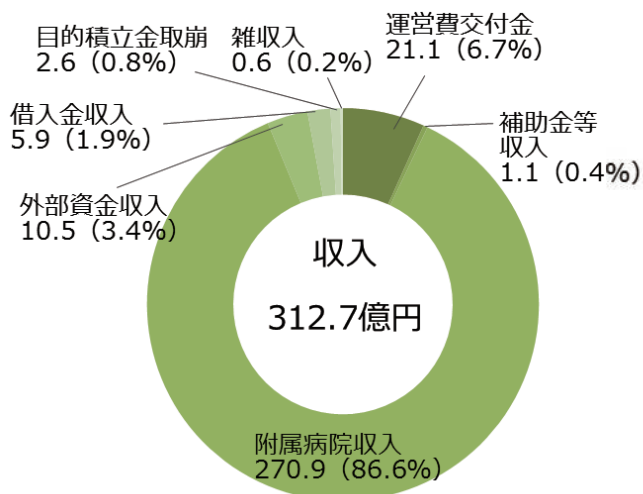
## 附属病院について

附属病院収支が本学の収入に占める割合は約51%、支出に占める割合は約53%であり、その事業規模の大きさからも大学全体の財務運営に与える影響は大きく、健全で安定的な病院経営が不可欠です。

そのため、経営状況についての分析とそれに基づく増収に向けたさまざまな取り組みの実施、物品及び役務契約の見直し等による調達コストの削減など、更なる経営改善に向けて努力しています。

令和元事業年度 速報値：収支決算ベース

(単位：億円)



※ 文部科学大臣の承認を受けるまでは、金額等の変更が生じることがあります。



## 施設整備

### 金沢大学における主な施設整備事業

|                     |   |   |  |
|---------------------|---|---|--|
| 平成 28 年度            | <p><b>グローバル化に対応した教育研究環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (角間) 学生留学生宿舎「先魁」Ⅱ期新営</li> <li>・ (宝町・病院) 駐車場・屋外通路環境整備</li> <li>・ (宝町) 保健学類 1 号館改修(Ⅰ期)</li> </ul>   |  <p>「北溟」(先魁Ⅱ期)</p>    | <p>H28.07~H29.03<br/>H26.11~H28.06<br/>H29.03~H29.11</p>   |
| 平成 29 年度            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (宝町・病院) 中央診療棟手術室改修</li> <li>・ (角間) 中央図書館空調設備改修</li> </ul> <p><b>学生支援設備の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (角間) テニスコート改修(Ⅰ期)<br/>(既存テニスコートのハードコート化)</li> <li>・ (角間) 屋外運動場再整備(金沢大学 SOLTILO FIELD)<br/>(産学官連携による既存グラウンドの人工芝化)</li> </ul>   |  <p>屋外運動場再整備</p>      | <p>H29.03~H29.10<br/>H29.09~H30.03<br/>H30.02~H30.03<br/>H29.09~H30.04</p>   |
| 平成 30 年度            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「金沢大学インフラ長寿命化計画(個別施設計画)」を策定</li> <li>・ (角間) 多目的グラウンド整備</li> <li>・ (角間) トイレ機能改善整備(6年計画の1年目)</li> <li>・ (角間) テニスコート改修(Ⅱ期)</li> <li>・ (宝町・病院) 病棟無菌治療室改修</li> <li>・ (宝町・病院) 中央診療棟ヘリポート整備</li> <li>・ (宝町) 保健学類 1 号館改修(Ⅱ期)</li> </ul> <p><b>新たなプロジェクトに応じた施設等の計画的整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (能登町) 能登海洋水産センター施設新営工事【能登町発注工事】</li> </ul> |  <p>多目的グラウンド整備</p>   | <p>H30.04~H30.08<br/>H30.09~H30.12<br/>H31.02~H31.03<br/>H30.10~H31.03<br/>H30.10~H31.05<br/>H30.07~H31.03</p>   |
| 平成 31 年度<br>・ 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (角間) サッカー場クラブハウス新営</li> <li>・ (角間) トイレ機能改善整備(6年計画の2年目)</li> <li>・ (平和町他) 附属学校空調設備取設</li> <li>・ (宝町) 学際科学実験センター遺伝子研究施設空調設備改修</li> <li>・ (角間) 市道トンネル上部法面整形</li> <li>・ (角間) 調整池整備(堆砂槽設置)</li> </ul>   |  <p>サッカー場クラブハウス</p> | <p>R01.06~R01.09<br/>R01.10~R02.03<br/>H31.03~R02.02<br/>R01.07~R02.03<br/>R01.07~R02.03<br/>R01.07~R02.03</p>   |
| 令和 2 年度             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (角間) ナノ生命科学研究所棟新営</li> <li>・ (越坂) 能登海洋水産センター別館改修</li> <li>・ (角間) 自然科学本館コンビニエンスストア整備</li> <li>・ (宝町・病院) 第 2 立体駐車場新営</li> <li>・ (角間) 人間社会 3 号館等空調整備改修</li> <li>・ (小木) 基幹・環境整備(法面安全対策)</li> <li>・ (角間) 基幹・環境整備(橋梁耐震化)</li> <li>・ (角間Ⅱ他) 自然科学本館等非構造部材(特定天井等)耐震改修</li> <li>・ (角間) トイレ機能改善整備(6年計画の3年目)</li> </ul>  |  <p>ナノ生命科学研究所棟</p>  | <p>H31.04~R02.09<br/>R02.01~R02.05<br/>R02.05~R02.07<br/>R02.06~R03.03<br/>R02.07~R03.03<br/>R02.08~R03.01<br/>R02.08~R03.03<br/>R02.08~R03.03<br/>R02.09~R03.03</p> |
| 令和 3 年度<br>以降       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (角間Ⅱ) 産学連携研究拠点施設新営</li> <li>・ (宝町・病院) 新中央診療棟新営</li> </ul>  |   |  |

## ガバナンス体制

### ◆ 教員人事制度

令和2年4月現在

|                                      |   |  |
|--------------------------------------|---|--|
| <p>年俸制<br/>平成27年1月1日導入</p>           | <p>獲得した競争的資金に係る間接経費の額に応じて、年俸額を加算する等、業績を処遇に適切に反映する仕組みを設けた年俸制を導入（H31年度から新たな年俸制も導入）</p>      | <p>年俸制適用教員数<br/>264名<br/>※全教員の約26%</p>                             |
| <p>リサーチプロフェッサー制<br/>平成27年1月1日導入</p>  | <p>優れた教員の確保・研究環境の整備のため、リサーチプロフェッサー制（主として研究に専念する教員・「招へい型」「登用型」「若手型」「拠点型（H29～）」の4類型）を導入</p> | <p>リサーチプロフェッサー数<br/>招へい型 5名<br/>登用型 8名<br/>若手型 14名<br/>拠点型 25名</p> |
| <p>クロスアポイントメント制度<br/>平成27年4月1日導入</p> | <p>他の機関との協定に基づき、本学又は相手機関の職員がそれぞれの身分を保有したまま、本学又は相手機関の常勤の職員として業務に従事できるクロスアポイントメント制度を導入</p>  | <p>クロスアポイントメント制度適用教員数<br/>4名</p>                                   |

### ★ 女性研究者支援 ★

#### 研究パートナー制度

子育て・介護中の研究活動支援として、研究データ解析、実験補助、文献調査、統計処理等の研究補助業務を行う研究パートナーの雇用経費を助成

#### 女性研究者等研究支援制度

女性研究者への研究費の補助

#### 女性研究者賞

優れた業績を挙げた女性研究者を顕彰することにより、女性研究者の研究意欲の向上・育成等を目的に支援

#### リーダー育成支援

国際シンポジウム開催支援やリーダー育成研修支援を実施

☆女性研究者の割合 17.7%  
(特任教員・助手等除く)

☆女子学生（学士）：38.9%

☆女子学生（大学院）：27.9%

令和2年2月現在

## 金沢大学国際賞

### 鈴木大拙-西田幾多郎記念

金沢大学国際賞は、金沢大学にゆかりをもつ鈴木大拙と西田幾多郎に因み、臼井滄氏（昭和39年金沢大学医学部卒業）のご篤志を原資として設けられました。本国際賞の目的は、哲学・思想・宗教を中心とする分野で、国際的に卓越した業績を挙げた研究者を顕彰し、当該分野の研究の一層の進展を促すことです。第2回は、日米2つの文化的背景を活かしながら、「間文化哲学（インターカルチュラル）」における独自の視点を持ち、精力的に研究を展開している点を評価し、遊佐 道子 氏（西ワシントン大学 日本哲学・インターカルチュラル哲学 教授）に授賞しました。



授賞式で挨拶する山崎学長



記念講演で講演する遊佐氏



授賞式で挨拶する臼井氏

## その他

### 金沢大学金沢駅前サテライト

金沢駅前における社会人に対する教育の提供、産学官連携、大学の情報発信等に資する場として、平成30年8月に金沢駅前サテライトを設置しました。企業との打合せ、会議等での活用に加え、今後は、社会のニーズに対応した高付加価値学習事業の展開を予定しています。

### 金沢大学東京事務所

東京事務所は、首都圏における学生の就職活動の拠点、教職員の活動拠点、各同窓会の連絡拠点や交流の場として幅広く利用されています。平成31年4月には日本橋室町3丁目に新築された「日本橋室町三井タワー」の5階へ移転し、首都圏での更なる活動の拡充・情報発信を進めています。

## 附属図書館

年間総入館者数は **69 万人** 年間総貸出冊数は **12 万冊**

市民の皆様も年間 **3,100 人** が利用

蔵書数は **192万冊**（前身校からの貴重な学術専門書が多数） 土日も開館

ご利用については Web サイトをチェック！ <https://library.kanazawa-u.ac.jp/>

- 来館の利用者（北陸3県在住者）に直接貸出をするほか、公共図書館を窓口とした貸出・文献複写も可能（一部を除く。）
- 学生が能動的に学びあう空間、ラーニング・コモンズを全館に設置
- 日本人学生と留学生の日常的な交流の場、国際交流スタジオ・コーナーを全館に設置
- 金沢大学学術情報リポジトリ（KURA）から、本学教職員の学術成果（論文などのコンテンツ）をインターネット上で世界に向け公開
- 近隣の小学生を対象に、「金大生による“調べ学習”教室」を開催

### ◆中央図書館（角間キャンパス北地区）

- ・旧制四高時代の貴重資料を含む、人文・社会系の図書や雑誌を中心に所蔵
- ・喫茶「ほん和かふえ。」を設置



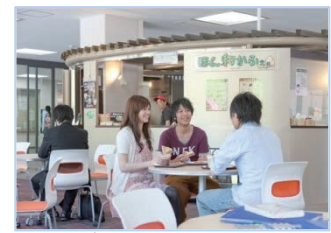
オープンで明るいラーニング・コモンズ

### ◆自然科学系図書館（角間キャンパス南地区）

- ・環境学コレクションをはじめ、理・工・薬学系の図書や雑誌を中心に所蔵

### ◆医学図書館（宝町キャンパス）

- ・医学専門の図書や雑誌を中心に所蔵
- ・ブックラウンジに特別支援学校が運営する喫茶「プラタナスカフェ」を設置



くつろぎ空間「ほん和かふえ。」

### ◆保健学類図書室（鶴間キャンパス）

- ・保健学専門の図書や雑誌を中心に所蔵

未来図書館構想 「知と創造の学修館」の新設計画を策定

- 新たな知の集積・知的交流の場として「知と創造の学修館」を整備し、様々な学びの場と多様な利用者にかかれた交流スペースを提供、人と人との交流による新たな価値の創出を目指します。

金大図書館時習基金を設立 ※2次元バーコードからアクセスできます。

- 附属図書館利用者の利便性・快適性の向上、所蔵資料の保存・活用を継続的に実施するための基金を設立しました。皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

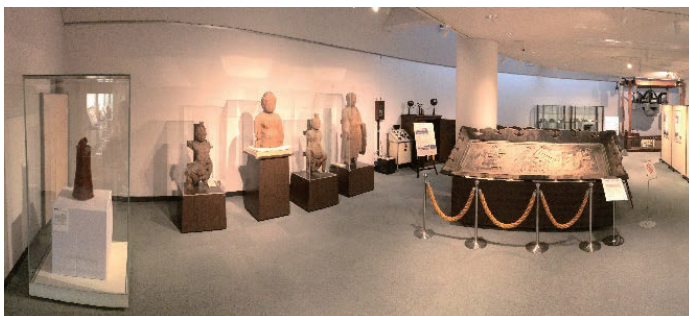
アクセスは  
こちらから→



## 資料館

金沢大学の歴史を紹介 文部科学大臣指定博物館相当施設 入館無料

- 前身校から受け継いだ文化史、自然史、科学技術史にわたる「学術標本」や「金沢大学史料」を収集・公開
  - ・加賀藩校「明倫堂」「経武館」の扁額が金沢市の有形文化財に指定（平成29年6月）
  - ・第四高等学校の物理実験機器、著名な宗教家 暁烏 敏 氏の陶磁器コレクション等を所蔵
- 特別展・企画展・出張展覧会等を開催し、学外の博物館等との連携を推進



収蔵資料総数 約 88,000 点

〔モノ資料 77,000 点 文書資料 11,000 点〕

開館時間 平日 10:00～16:00

入館者数 7,250 人（令和元年度）

累計入館者 103,817 人（令和2年3月末時点）



## 同窓会

### 金沢大学学友会とは

## 全国と世界に広がる金沢大学学友会

目的：基幹同窓会を中心とした全国的交流と連携を推進する

ことにより、卒業生相互の交流と親睦を図り、併せて大学との連携及び大学の教育研究活動への支援を行い、大学の発展と社会に貢献します。

設立：平成 23 年 11 月

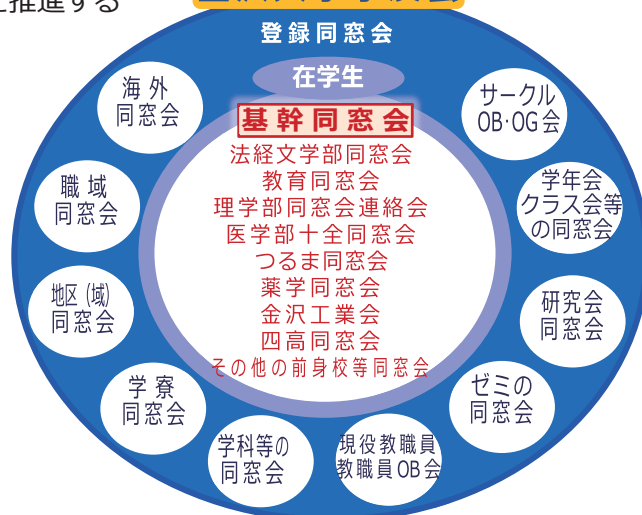
登録団体数：合計 36 団体

基幹同窓会 8 団体

登録同窓会 28 団体（海外同窓会含む）

※令和 2 年 5 月 1 日現在

### 金沢大学学友会



### ホームカミングデイ

本学では、卒業生・修了生に再び母校を訪れてもらう「ホームカミングデイ」を毎年開催しています。

◆第 13 回ホームカミングデイ（令和元年 10 月 26 日開催）

式典参加者：215 名（うち学外者 161 名） 懇親交流会参加者：183 名（うち学外者 139 名）

◆第 14 回ホームカミングデイ 開催日：令和 2 年 10 月 31 日（土）（予定）

## 金沢大学基金

### 金沢大学基金

平成 20 年 3 月、本学の学生修学及び教育研究等に係る各種事業を支援することにより、我が国の学術・文化の発展に資することを目的に設立しました。

### 修学支援基金

平成 28 年 8 月、学生が経済的な理由で修学に困難を来さないよう支援することを目的に設立しました。

### 金沢大学カード

平成 28 年 4 月、ご利用に応じて得られる手数料収入の一部が金沢大学基金に寄附される、金沢大学カードを導入しました。

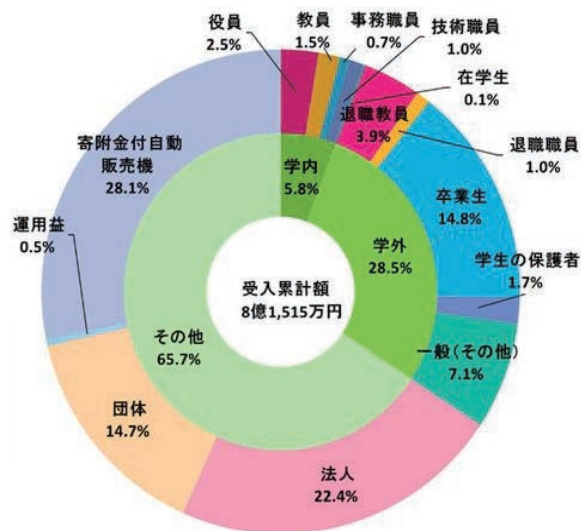


### 課外活動振興基金

平成 30 年 4 月、サークル活動を支援する目的で設立しました。

### 学生の国際交流支援事業

学生の派遣，受入（平成 30 年度から就学支援基金を含む）



金沢大学基金は  
金沢大学の  
国際交流を  
支えます

| 年度        | 日本人学生 |         | 外国人学生 |         | 計     |         |
|-----------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|
|           | 人数    | 金額 (千円) | 人数    | 金額 (千円) | 人数    | 金額 (千円) |
| 平成25～29年度 | 1,241 | 99,325  | 751   | 81,595  | 1,992 | 180,920 |
| 30年度      | 221   | 18,005  | 188   | 22,453  | 409   | 40,458  |
| 令和元年度     | 342   | 23,485  | 221   | 21,790  | 563   | 45,275  |
| 計         | 1,804 | 140,815 | 1,160 | 125,838 | 2,964 | 266,653 |



## 私たちの金沢大学 2020

